自然災害に備える
防災ガイドブック

藤岡市
ハザードマップ

平成 31 年 3 月作成
令和 5 年 11 月一部修正

わが家の防災メモ〈マイ・タイムライン〉

■わが家の避難場所・避難所

■いざというときの連絡先

藤岡市役所	〒375-8601　藤岡市中栗須 327 TEL : 0274-22-1211（代表）　FAX : 0274-24-3252 TEL : 0274-22-7444（防災センター）　FAX : 0274-24-4515
鬼石総合支所	〒370-1492　藤岡市鬼石 170-1 TEL : 0274-52-3111　FAX : 0274-52-4857
警察／消防	110 ／ 119

避難が必要になった場合を想定し、避難前の備えや避難場所、避難行動について記入しましょう。

災害発生までの時間と雨や川の状況	行政から発信される情報	主な備え（メモ欄）※いつ、どんな備えをしたら良いか記入しましょう	備えの例
3 日前 台風が発生 台風が近づいて雨や風がだんだん強くなる	○台風情報（※随時発表） **警戒レベル1** ○早期注意情報 **警戒レベル2**		テレビや気象庁ホームページなどから今後の台風について調べ始める 家の周辺に風で飛ばされそうなものはないか確認する 持病がある場合は病院に薬をもらいに行く 避難するときに持っていくものを準備する
2日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○大雨警報・洪水警報		携帯電話やスマートフォンを充電する 川の水位を調べ始める
1日前 **水防団待機水位到達** 雨が集まって川の水がだんだん増える			今後の台風について調べ始める ハザードマップで避難場所や避難方法を再確認 市のホームページなどから避難情報等を調べる
6 時間前 **氾濫注意水位到達** 激しい雨で川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる	▲氾濫注意情報		自宅にいることに不安や危険を感じる方は自主避難を開始する
2時間前 **避難判断水位到達** 川の水がいっぱいであふれそう	▲氾濫警戒情報 **警戒レベル3** ■高齢者等避難 ▲氾濫危険情報 ▲緊急速報メール（河川氾濫のおそれ）		自宅にいることに不安や危険 ●高齢者などの避難に時間が必要な方は避難を開始する ●避難しやすい服装に着替える ●近所の高齢者の方などに声かけを行う
1 時間前 **氾濫危険水位到達**	**警戒レベル4** ■避難指示		●市内の指定避難所等への避難を完了する
警戒レベル4までに必ず避難！			
0時間前 **氾濫が発生** 川の水が氾濫	▲緊急速報メール（氾濫が発生） **警戒レベル5** ■緊急安全確保	【凡例】 黒（○）：気象情報 緑（■）：避難情報 青（▲）：河川水位情報	●避難が完了できない場合は、なるべく高い建物の高層階へ避難する（垂直避難） 土砂災害の場合は、土砂が崩れそうな場所の反対側に寄る

大雨警報や避難指示等の発表時刻はイメージで記載しており、実際とは異なります。
警戒レベルの・防災気象情報など参考にしながら、状況に応じて早めの判断を行い、避難行動をとるようにしてください。

藤岡市ハザードマップ

自然災害に備えましょう

索引図

ハザードマップ 索引(インデックス)

マップ❶ → P18・19
マップ❷ → P20・21
マップ❸ → P22・23
マップ❹ → P24・25
マップ❺ → P26・27
マップ❻ → P28・29
マップ❼ → P30・31
マップ❽ → P32・33
マップ❾ → P34・35
マップ❿ → P36・37
マップ⓫ → P38・39
マップ⓬ → P40・41
マップ⓭ → P42・43
マップ⓮ → P44・45
マップ⓯ → P46・47
マップ⓰ → P48・49
マップ⓱ → P50・51
マップ⓲ → P52・53
マップ⓳ → P54・55

洪水災害、土砂災害等から命を守るための対応について、4～17ページで自然災害の情報や内容を理解し、18～55ページのハザードマップでは、予想されている自然災害の内容を把握し、円滑かつ迅速な避難に備えてください。

目　次

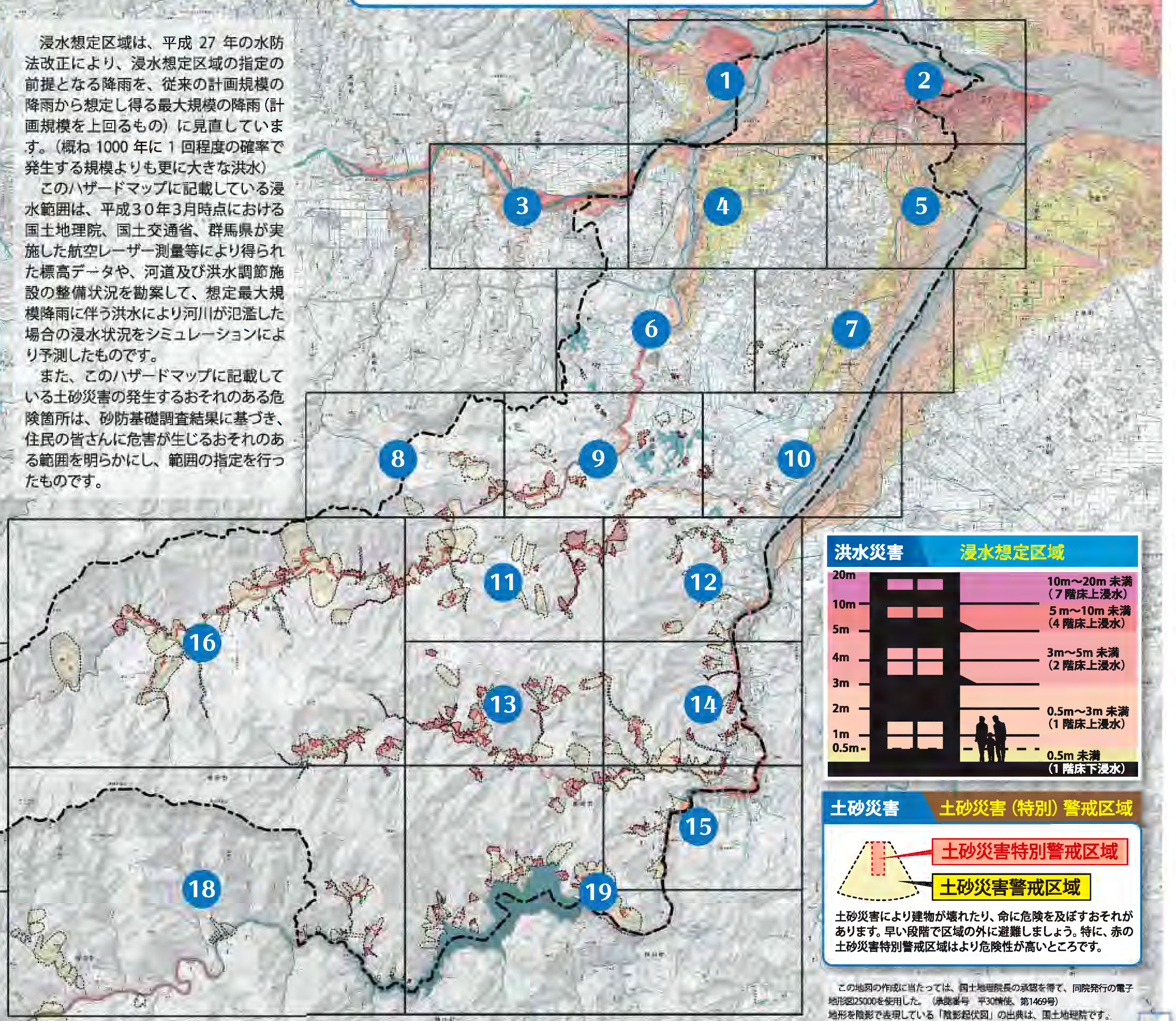
目次・索引図　P2 ～ 3
避難の心得　P4 ～ 5
洪水災害に備えて　P6 ～ 7
土砂災害に備えて　P8 ～ 9
地震災害に備えて　P10 ～ 11
災害情報の入手方法と入手先　P12 ～ 13
非常用持ち出し品の準備　備蓄品の準備　P14 ～ 15
避難場所・避難所・福祉避難所一覧表　P16 ～ 17
ハザードマップ　P18 ～ 55
わが家の防災メモ〈マイ・タイムライン〉　裏表紙

浸水想定区域は、平成 27 年の水防法改正により、浸水想定区域の指定の前提となる降雨を、従来の計画規模の降雨から想定し得る最大規模の降雨（計画規模を上回るもの）に見直しています。（概ね 1000 年に 1 回程度の確率で発生する規模よりも更に大きな洪水）

このハザードマップに記載している浸水範囲は、平成30年3月時点における国土地理院、国土交通省、群馬県が実施した航空レーザー測量等により得られた標高データや、河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

また、このハザードマップに記載している土砂災害の発生するおそれのある危険箇所所は、砂防基礎調査結果に基づき、住民の皆さんに危害が生じるおそれのある範囲を明らかにし、範囲の指定を行ったものです。

藤岡市は、群馬県の南西部に位置し、鮎川、鏑川、烏川、神流川が流れ、市域の最南部には、首都圏の水がめである下久保ダムがあり、山と緑と清流に恵まれた街です。藤岡市域は、南西に主要山岳（赤久縄山等）があり標高が高く、北東に行くにしたがい平野部が広がる地勢となっています。地域特性により、南西の山間部では、がけ崩れや土石流といった土砂災害に注意を必要とし、北東の平野部では鮎川、鏑川、烏川、神流川の広範囲な浸水被害に注意をしなければなりません。



❶から⓯まで縮尺 1/10,000
⓰から⓳まで縮尺 1/20,000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）
地形を陰影で表現している「陰影起伏図」の出典は、国土地理院です。

洪水災害時における避難の心得

緊急時に安全かつ迅速な避難行動をとれるように、避難の心構えや緊急対応、避難時の注意点を整理しましょう。

□正確な情報収集と早めの避難

テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意し、危険を感じたら早めの避難をしましょう。

□動きやすい服装と集団での避難

自宅のまわりが浸水していなくても、避難場所等への途中の道路などが浸水している場合もあるので、注意しましょう。また、動きやすい服装での避難や、避難時の事故防止のためにも、家族や隣近所等とともに避難するとよいでしょう。

□安全な避難経路の確認

避難場所等までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。河川の様子を見ようとしたり、避難するときに水位が増した河川や橋に近づいたりしないようにしましょう。

□氾濫水は勢いが強い

洪水による氾濫は勢いが強く、水深が膝程度あると大人でも歩くのが困難です。緊急避難として、高い頑丈な建物にとどまることも選択肢の一つです。

□氾濫水は濁っている

氾濫水（特に洪水）は茶色く濁っており、水路と道路の境や、ふたが開いているマンホールの穴は見えません。やむを得ず水の中を移動するときには、棒などで足下を確認しながら移動しましょう。

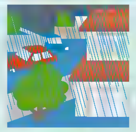
□浸水が生じている場合や避難が遅れた場合の緊急対応

氾濫水の流れが緩やかであっても、0.5m以上の水深があると大人でも歩行が困難となることから、浸水が始まった後に移動することは大変危険になります。そのため、避難のため十分な時間を確保できない場合や浸水深によっては、予定していた避難場所等に避難することを止め、自宅の2階への退避や近隣の安全な建物への移動など状況等に応じた避難をしましょう。

□車での避難の危険性

川沿いの道路で川に転落して命を落とす場合があります。
浸水深が0.3m以上では車の走行は困難となり、0.5m以上では車が浮いたり、水圧でドアが開かず車内に閉じ込められたりするなど、避難時の車の使用は危険です。
避難所には限られた数の駐車場しかありません。多くの人が車での避難をすると渋滞が発生し、緊急車両の通行の妨げになってしまいます。

雨の強さと降り方

1時間雨量	予報用語	人の受けるイメージ		災害発生状況
10～20mm未満	やや強い雨		ザーザーと降る雨	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要
20～30mm未満	強い雨		どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小さな崖崩れが始まる
30～50mm未満	激しい雨		バケツをひっくり返したように降る雨	山崩れ、崖崩れが起きやすくなり、警戒が必要な区域では避難の準備が必要
50～80mm未満	非常に激しい雨		滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	マンホールから水が流出する 土石流が起こりやすい 多くの水害が発生する
80mm以上	猛烈な雨		息苦しくなるような圧迫感がある 恐怖を感じる	雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要

土砂災害時における避難の心得

緊急時に安全かつ迅速な避難行動をとれるように、避難の心構えや緊急対応、避難時の注意点を整理しましょう。

□安全な避難経路の確認

避難場所等までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。他の土砂災害警戒区域を確認しておき、避難場所等へ避難する際には、土砂災害警戒区域には近づかないようにしましょう。

□土石流に関しての避難

土石流危険渓流（土石流が発生するおそれがあると認められた川や沢）で発生した土石流に関しては、渓流に対して直角方向にできるだけ離れるように避難しましょう。渓流を渡って対岸に避難することは避けましょう。

□土砂災害が生じている場合や避難が遅れた場合の緊急対応

避難場所等への避難が困難な場合には、命を守る最低限の行動として、周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の頑丈な構造物）の2階以上（斜面と反対側の部屋）に避難することを心がけましょう。

□土砂災害の前兆現象

土砂災害の前兆現象に気づいたら、直ちに区長・市役所などに連絡しましょう。
危険を感じたら、早めの避難をしましょう。

洪水災害に備えて

お年寄りの方、体の不自由な方、小さな子どもがいらっしゃる方など、避難に時間のかかる方とその避難を支援する方は避難を開始。それ以外の方は、避難の準備を整えるとともに、気象情報に注意し、危険だと思ったら避難を開始。

指定された避難場所へ速やかに避難を開始。夜間等で、指定された避難場所への移動が危険だと判断される場合は、近隣の頑丈な建物への退避や、屋内での安全を確保する。

すでに災害が発生していてもおかしくない極めて危険な状態で、避難していない人は避難場所へ緊急に避難する。指定された避難場所への移動が危険だと自ら判断される場合は、より安全な近隣の場所・建物等への避難や、屋内での安全を確保する。

その場そのときで
最も安全な場所へ！

これらの情報が発令されていなくても
身の危険や不安を感じたら避難してください

水位情報に注意！

河川水位情報は、河川の氾濫に対する避難の目安となる情報です。

氾濫の危険が間近に迫っている — 市は、避難指示の発令を判断します。

このまま降り続くと氾濫する — 市は、高齢者等避難の発令を判断します。

いつもより水位が高い — 水防団（消防団）が待機します。

	鏑 川	鮎 川	烏 川	三波川	温井川	神流川	神流川
（観測所名）	山名	鮎川	岩鼻	三波川	温井川	鬼石	若泉
氾濫危険水位	6.20m	4.16m	4.60m	-	-	-	7.00m
避難判断水位	6.00m	3.30m	4.10m	-	-	-	6.70m
氾濫注意水位	2.60m	3.10m	3.30m	2.20m	1.80m	3.00m	3.00m
水防団待機水位	2.20m	2.80m	1.00m	1.50m	1.30m	2.00m	2.00m
通常の水位							

群馬県水位雨量情報
https://www.river-gunma.jp

川の防災情報
https://www.river.go.jp

気象情報に注意！

大雨により災害が発生するおそれがある場合、
警報や注意報などの防災気象情報を気象庁が発表します。

非常事態
さらに激しい大雨が続くと — **大雨特別警報**

大雨が降り続くと — **大雨警報・洪水警報**

雨が強くなると — **大雨注意報・洪水注意報**

NHK データ放送
リモコンの d ボタンを押す

気象庁
https://www.jma.go.jp

土砂災害に備えて

雨が降り始める → 高齢者等避難 → 避難指示 → 発災

避難準備の開始
避難に時間のかかる方は
特に早めに避難

直ちにその場から避難

お年寄りの方、体の不自由な方、小さな子どもがいらっしゃる方など、避難に時間のかかる方とその避難を支援する方は避難を開始。それ以外の方は、避難の準備を整えるとともに、気象情報に注意し、危険だと思ったら避難を開始。

指定された避難場所へ速やかに避難を開始。夜間等で、指定された避難場所への移動が危険だと判断される場合は、近隣の頑丈な建物への退避や、山から遠い上階に退避するといった屋内での安全を確保する。

すでに災害が発生していてもおかしくない極めて危険な状態で、避難していない人は避難場所へ緊急に避難する。指定された避難場所への移動が危険だと自ら判断される場合は、近隣のより安全な場所・建物等への避難や、山から遠い上階に退避するといった屋内での安全を確保する。

その場そのときで
最も安全な場所へ！

これらの情報が発令されていなくても
身の危険や不安を感じたら避難してください

土砂災害警戒情報に注意！

土砂災害警戒情報

NHK データ放送
リモコンの ｄ ボタンを押す

群馬県土砂災害警戒情報・危険度情報
https://www.dosya-gunma.jp/web_pub

土砂災害発生の危険性が高まった時に、地域の雨量など考慮して、群馬県と気象庁が共同で発表します。

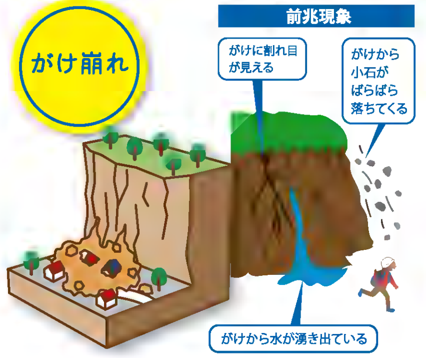
土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。土砂災害警戒情報が発表された市町村内で危険度が高まっている詳細な区域は土砂災害警戒判定メッシュ情報で確認できます。

危険	２時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想。速やかに少しでも安全な場所へ避難を開始する。
警戒	土砂災害への警戒が必要。高齢者等は安全な場所へ避難を開始する。
注意	土砂災害への注意が必要。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。

土砂災害を知ろう　このような場所が区域指定の対象となります。

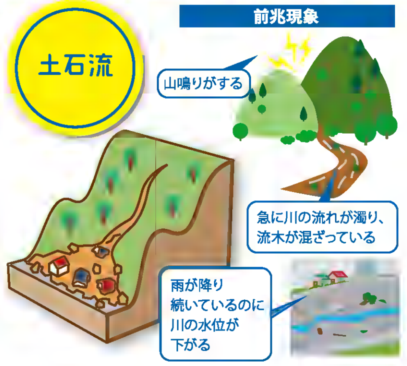
がけ崩れ



がけ崩れは、急な斜面で突発的に起こり瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。

湧水量の増加
▼
小石がばらばら落下湧水の濁り
▼
小石がぼろぼろ落下亀裂の発生
▼
がけ崩れ発生

土石流



土石流は、谷筋で起きますので、土砂などが水といっしょに流れ下り、スピードが速く大きな破壊力を持っています。

流水の異常な濁り
▼
流水発生・渓流内の転石の音
▼
山鳴り・地鳴り水位の急激な低下
▼
土石流発生

地すべり

地すべりは、一度に広い範囲の地盤が動き出しますので、速度はゆるやかですが、発生すると大きな被害をもたらします。

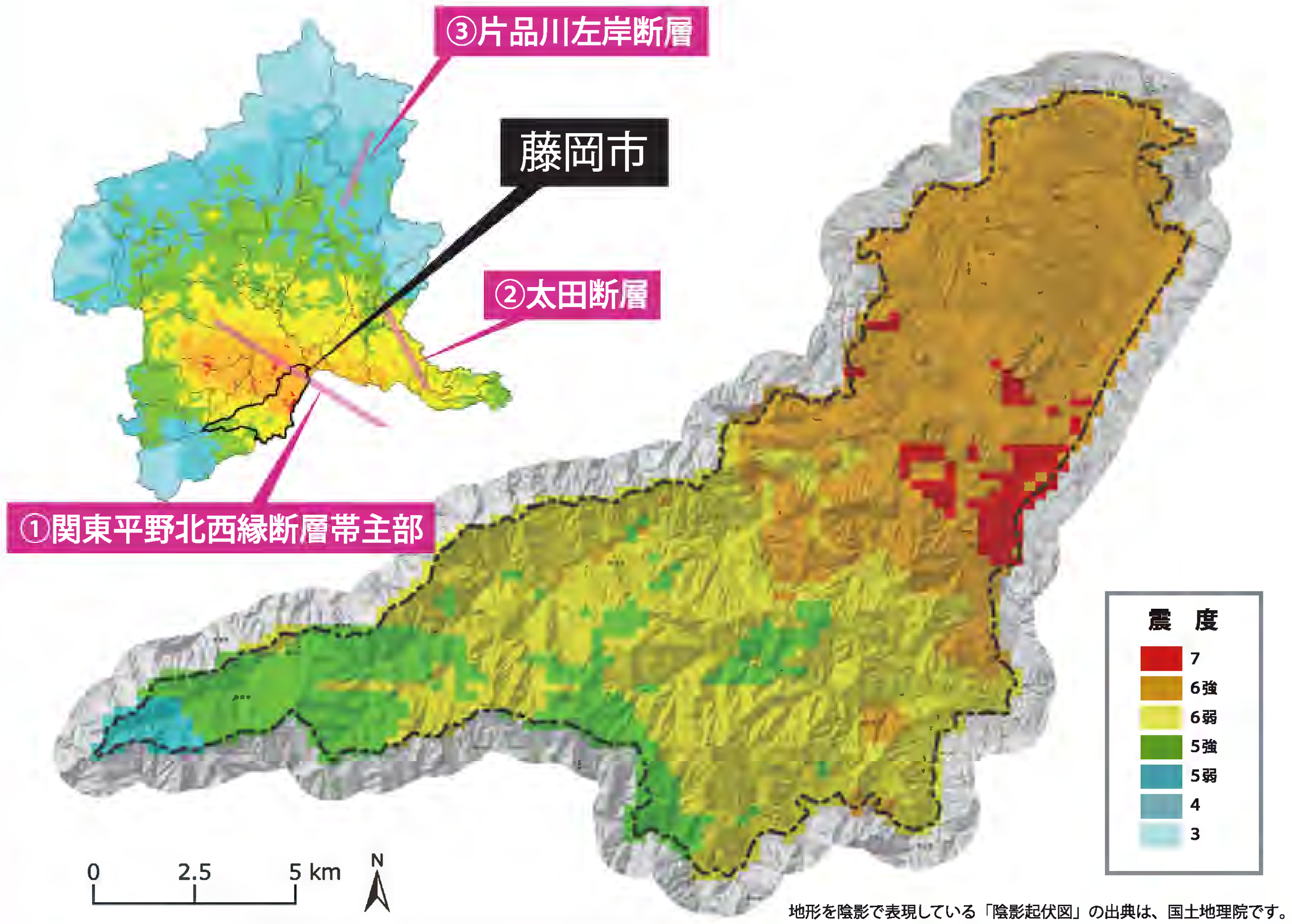
湧水量の増加井戸水の濁り
▼
亀裂の発生
▼
山鳴り・地鳴り
▼
地すべり発生

地震災害に備えて

群馬県に大きな被害を与える可能性のある３つの地震（①関東平野北西縁断層帯主部による地震、②太田断層による地震、③片品川左岸断層による地震）が想定されていますが、その中でも藤岡市に大きな被害を与えるのが関東平野北西縁断層帯主部による地震とされています。この最大クラスの地震について確認していただき、地震の備えに役立ててください。

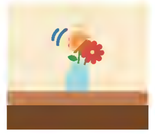
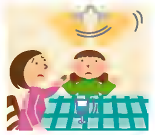
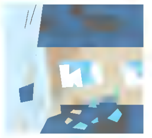
震度分布図

大きい震度が予想される「関東平野北西縁断層帯主部による地震（M8.1）」の場合の予測震度分布図です。想定される規模の地震に対する揺れの大きさを推計し、最大の揺れの大きさ（震度）をメッシュ（網の目）で色分けして示しています。この震度分布図は、群馬県が平成 24 年 6 月に公表した地震被害想定調査結果によるものです。



地形を陰影で表現している「陰影起伏図」の出典は、国土地理院です。

震度階級

震度 3 以下	震度 4	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
						
屋内にいる人が揺れを感じる。	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。	多くの人が身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障をきたす。	非常な恐怖を感じる。行動に支障をきたす。	立っていることが困難になる。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動ができない。

地震による被害を可能な限り減少させるために、市民の皆さんが自助・共助による地域防災力を向上させるための検討資料としてお使いください。日頃、地域の災害リスクや災害から命を守るための知識や心構えを身に着け、いざという時にも落ち着いて的確な行動をとれるように準備しましょう。

地震防災対策

□非常持出品の準備

・避難場所での生活に最低限必要な準備をし、また負傷したときに応急手当ができるように準備しておきましょう。
・非常持出袋などは、いつでも持ち出せる場所に備えておきましょう。

備蓄品等の日頃の対策

□火災発生対策（消火の備え）

・地震が発生したら、すばやく火の始末をしましょう。使用中のガス器具、ストーブなどは、すばやく火を消しましょう。（石油ストーブは「対震自動消火装置」のものを使用しましょう。）
・ガス器具は元栓を締め、電気器具はコンセントを抜きましょう。
・万一出火したら、まず消火器や三角バケツなどの消火用具でボヤのうちに消し止めましょう。
・大声で隣近所に声をかけ、みんなで協力しあって初期消火に努めましょう。

火災発生対策（消火の備え）

□情報収集

・携帯電話、インターネット、テレビ、ラジオなどで正しい情報を入手しましょう。
・自宅と避難場所、避難所の位置を確認しましょう。
・自宅や地域全体で想定される地震の被害状況も確認しましょう。

緊急地震速報、避難所、避難場所等の情報

□家族の安否を確認する方法

・地震時に落ち合う場所をあらかじめ定めておきましょう。
・地震時に安否情報の取次ぎをしてもらえる親戚、知人等（遠方に住んでいる人であることが必要）を決めておきましょう。
・ＮＴＴ「災害用伝言ダイヤル（１７１）」や「災害用伝言板（ＷＥＢ１７１）」の活用を家族で決めておきましょう。毎月1日・15日や防災週間などで、災害伝言ダイヤル（１７１）が体験利用ができるので、使い方を確認して、いざというときに大切な人の安否情報が確認できるようにしましょう。

家族や知人等の安否確認方法

□電気・水道・ガス等のインフラが使用できない場合の対策

・ラジオなどで情報を聴取できるようにしておきましょう。乾電池などの準備をしましょう。
・救援物資が届くまでの3日間を生き延びるため、最低限3リットル／人日の水を確保しましょう。
・暖房、調理などに最低限の代替手段を考えておきましょう。暖房には防寒着やカイロなどの代用品で、調理には非常食等で対応しましょう。

電気・水道、ガス等のインフラが使用できない場合の対策

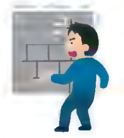
□防災訓練

・防災訓練に誘い合って積極的に参加し、防災行動力を身につけましょう。
・軽いけがの処置など、協力して行う応急救護の方法を身につけましょう。消防署などで行う救命講習会では、軽いけがの処置をはじめ心肺蘇生法について習得できますので、進んで参加しましょう。
・地域住民等で協力して行う救出活動の方法を身につけましょう。

防災訓練への参加等の地域の関わり合いや協力

□ブロック塀、石塀の補強

・基準どおりの鉄筋が入っているか、転倒防止の控壁が設けられているかなど、施工上の欠陥がないか、もう一度わが家の塀を点検しましょう。避難時には、塀や自動販売機の転倒にも注意しましょう。



ブロック塀等の補強対策

□家具等の転倒、落下防止

・家具等はトメ金などで固定しておきましょう。食器や調理器具が飛び出してくることもあるため、注意しましょう。

家具類の固定等の対策

□耐震診断の受診・耐震改修

・住宅の耐震性を把握するため、耐震診断を受診しましょう。
・住宅の耐震性が不足している場合には、耐震化に努めましょう。

耐震診断の受診、耐震補強といった住宅対策

災害情報の入手方法と入手先

台風の接近や低気圧などによる大雨が予想されるときは、**情報に注意し、避難に備えましょう。**

メールで受け取る

▶ふじおかほっとメール 事前登録

「ふじおかほっとメール」に登録すると、皆さんの携帯電話やパソコンに防犯・防災に関する情報やイベント・医療などの情報をメールでお知らせします（登録は無料ですが、メールの送受信にかかる通信料は利用者の負担になります）。

登録方法

■携帯電話やスマートフォンからの登録

Email t-fujioka@sg-m.jp

左記アドレスを直接入力し、空メールを送ってください。
折り返し、「仮登録完了のお知らせ」メールが届きます。
届いたメールから情報を入力して
本登録をして、登録完了です。
QR コード対応機種については、
右の QR コードからもアクセスできます。

■パソコンからの登録

URL https://service.sugumail.com/fujioka/

左記アドレスより登録画面を表示させ、
登録してください。

▶緊急速報メール 登録不要

緊急情報を緊急速報メールに対応した携帯電話やスマートフォンに配信します。（詳しくは携帯電話会社にお問い合わせください。）

テレビで調べる

リモコンの d ボタン（NHK データ放送）

データ放送に対応しているテレビでは、リモコンのdボタンを押すと、雨の情報や河川の情報を確認することができます。

ラジオで調べる

FM	FM 群馬	86.3MHz
	FM 群馬（鬼石方面）	87.1MHz
	NHK-FM	81.6MHz
AM	NHK第一	594KHz
	道路情報	1620KHz

インターネットで調べる

▶藤岡市ホームページ

URL https://www.city.fujioka.gunma.jp/ 左記アドレスよりアクセスできます。

藤岡市公式 X（旧 Twitter） @FujiokaCity

防災情報などを確認することができます。 URL https://twitter.com/FujiokaCity

災害時や災害のおそれがある場合には、住民の皆さんは自ら災害情報を収集し、
早期避難の検討等に役立てましょう。

▶気象庁

URL https://www.jma.go.jp

［情報の種類］大雨・洪水警報の危険度分布、気象警報・注意報、雨の様子、地震情報他

▶前橋地方気象台

URL https://www.jma-net.go.jp/maebashi/

［情報の種類］防災情報（警報・注意報、気象情報、台風情報、洪水予報等）

▶群馬県防災ポータルサイト

URL

［情報の種類］群馬県の災害情報（気象情報、地震情報他）、群馬県からのお知らせ（防災啓発情報他）

群馬県防災公式 X（旧 Twitter） @Gunma_bousai

URL

▶国土交通省　川の防災情報

URL https://www.river.go.jp

［情報の種類］水位観測所付近の川の断面図、都道府県概況（河川の水位と雨量の状況）
洪水予報・水位周知河川情報発表文、市町村概況（浸水想定区域図）他

▶国土交通省　防災情報提供センター

URL http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/

［情報の種類］リアルタイム情報（雨量、レーダー）他

電話が繋がりにくいときの連絡方法

災害用伝言ダイヤル（171）

「災害用伝言ダイヤル（171）」は、地震等の災害発生時に、被災地の方の安否を気遣う通話が増加し、被災地への通話がつながりにくい状況（ふくそう）になった場合、提供が開始されます。

災害用伝言板（WEB171）

「災害用伝言ダイヤル（171）」と「災害用伝言板（web171）」との連携により、それぞれで登録された伝言内容を、相互に確認が可能です。

URL https://www.web171.jp/

右の QR コードからもアクセスできます。

携帯電話用　災害用伝言板

携帯電話でも災害時に安否確認ができる「災害伝言板」サービスを提供しています。自らの安否状態を登録するとネットを通して、伝言を確認できます。

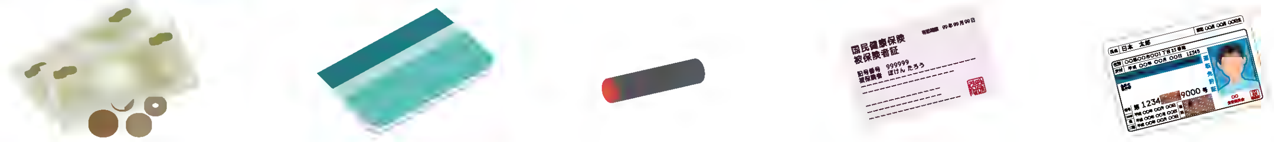
NTT　ドコモ	URL https://dengon.docomo.ne.jp
ソフトバンク Y！Mobile	URL https://dengon.softbank.ne.jp
au（KDDI）	URL https://dengon.ezweb.ne.jp

非常用持ち出し品の準備

非常用持ち出し品は、必要最低限なものにしてリュックサックにまとめ、
すぐ取り出せる場所に保管しておきましょう。

貴重品類

10 円玉は公衆電話用に。通帳、カード、健康保険証、運転免許証などは番号を控えたメモかコピーを用意しておくとよいでしょう。



□現金　□預金通帳　□印鑑　□保険証　□免許証

避難用具

懐中電灯はできれば一人に一つ用意したいもの。

□懐中電灯　□携帯ラジオ　□予備の乾電池　□ヘルメット・防災ずきん

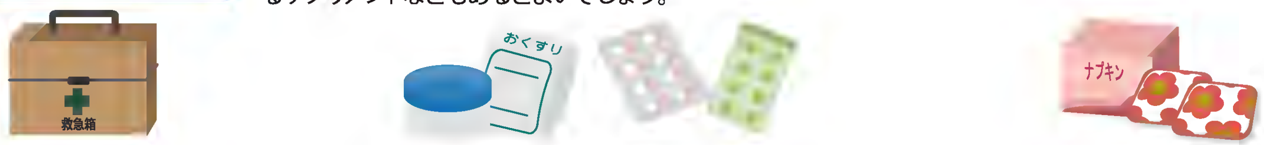
生活用品

避難所生活に最低限必要なものです。赤ちゃんやお年寄り、障がい者がいる場合など考慮して揃えましょう。

□厚手の手袋　□毛布　□缶切り　□ライター・マッチ　□ナイフ　□携帯用トイレ

救急用具

救急箱には絆創膏・消毒液など。その他ビタミン剤など日頃使っているサプリメントなどもあるとよいでしょう。



□救急箱　□持病の薬・処方箋の控え・胃腸薬・便秘薬　□生理用品

非常食品

最低 3 日分は用意しましょう。そのままで食べられるものが便利です。

1日3ℓが目安です。
3日分は備えましょう。

□乾パン　□缶づめ　□栄養補助食品　□アメ・チョコレート　□飲料水

衣料品

衣服は動きやすいものを選びましょう。セーターなどの防寒着も寒い季節には役立ちます。

□下着・靴下　□長袖・長ズボン　□防寒用ジャケット・雨具

その他

□携帯用カイロ

備蓄品の準備

備蓄品は、災害復旧までの数日間を自足できるように準備しておくものです。
災害後に取りに行けるよう、倉庫や車のトランクなどに分けて備蓄しておくと便利です。

生活用品

食器の上に敷けば洗う必要もありません。

□カセットコンロ　□紙皿・紙コップ・割り箸　□ガムテープ　□ラップフィルム　□筆記用具

瓦礫などから足を保護するために。

□ほうき・ちりとり
ガラスや倒壊物の除去に役立ちます。

□ロープ
救助活動の際に使えます。

□簡易トイレ　□洗顔用具　□長靴

□工具セット　□ランタン　□マスク　□タオル　□水のいらないシャンプー

雨具や敷物、簡易トイレとしても使用可能。プライバシー保護のため透けないものを。

□ビニール袋

ポリタンクには日頃から水道水をためておくと災害時、生活用水に使えて便利です。

□給水用ポリタンク

ウェットティッシュは入浴できない災害時には体が拭けるなど重宝します。

□ティッシュペーパー・ウェットティッシュ

1週間を想定した工夫と備え

1〜2日目

冷蔵庫・冷凍庫の食材を活用

食パンや野菜等は自然解凍により食べる事も可能。

冷蔵庫に食材を買い置きし、冷凍庫にもご飯や食パン、野菜、冷凍庫食品等の備蓄を。

3〜7日目

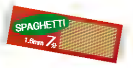
ローリングストック法

備蓄品を特別に備えるのではなく、日頃から食べているものや使っているものを少し多めに購入し、食べた分を補充しながら日常的に備蓄する（ローリングストック）ことで、無理がないようにし、消費期限切れなどの無駄のない備えをしましょう。

その他備蓄しておくと良いもの

缶づめ
野菜や果物の缶詰で栄養を。

乾麺（ラーメン・パスタ等）



ゆで時間の短いものを。

フリーズドライ食品（スープ等）

スープ類は食欲が無い時でも摂取可能。

※上記の日数・組み合わせは一例です。ローリンングストック法等で1週間分の非常食を備えておくとより安心です。
※1週間分の飲料水、また生活用水も備えましょう。飲料水は 1 人 1 日 3 ℓ × 家族分の準備を。

重要	想定される被害を可能な限り、抑制・減少させるため
自助	一人ひとりが自分の身の安全を守る
共助	自主防災組織など、身近にいる人同士が助け合う
公助	市や県、国などの防災関係機関が災害対策を進める

避難場所・避難所・福祉避難所一覧表

避難場所 命を守るため、災害の危険から まずは逃げるための場所

避難所 自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るための施設

●災害の種類や状況によって使用できる避難場所等は異なります。「避難場所・避難所」として使用が想定されている施設または場所の中には、洪水等による浸水想定区域あるいは土砂災害警戒区域等の中に存在するものもあります。災害の種類に応じて自分や家族が避難する所を、マップを見ながら決めておいてください。

番号	名称	使用可能区分 使用可：○、使用不可：×				所在地	電話番号
		避難所	避難場所				
			洪水	土砂	地震		
①	東中学校	○※	○※	○	○	本郷 786	0274-22-0761
②	地域づくりセンター藤岡	○	○	○	○	藤岡 1639-5	0274-22-0534
③	藤岡工業高校	○	○	○	○	下戸塚 47-2	0274-22-2153
④	北中学校	○	○	○	○	下栗須 283-2	0274-22-1352
⑤	群馬医療福祉大学	○	○	○	×	藤岡 787-2	0274-24-2941
⑥	藤岡第二小学校	○	○	○	○	藤岡 991	0274-22-0854
⑦	藤岡第一小学校	○	○	○	○	藤岡 1848-2	0274-22-0549
⑧	藤岡市総合学習センター	○	○	○	○	藤岡 1485	0274-50-8228
⑨	みかぼみらい館	○	○	○	○	藤岡 2728	0274-22-5511
⑩	神流小学校	○※	○※	○	○	下戸塚 190	0274-22-2444
⑪	藤岡中央高校	○※	○※	○	○	中栗須 909	0274-24-6660
⑫	小野小学校	○※	○※	○	○	森 541	0274-22-2546
⑬	小野中学校	○※	○※	○	○	立石 407	0274-24-0104
⑭	西中学校	○	○	○	○	上大塚 639	0274-22-0704
⑮	美土里小学校	○※	○※	○	○	下大塚 222	0274-22-2545
⑯	藤岡北高校	○	○	○	○	篠塚 90	0274-22-2308
⑰	七輿の門	×	○	○	○	上落合805-5	—
⑱	美九里東小学校	○	○	○	○	本郷 2067	0274-22-0813
⑲	地域づくりセンター美九里	×	○	○	○	神田 1976-2	0274-22-1334
⑳	美九里西小学校	○	○	○	○	三本木 769	0274-22-1945
㉑	保美公会堂	×	○	○	×	保美 130-1	—
㉒	コミュニティセンターやすらぎ	○	○	×	○	三本木 543-6	0274-24-0057
㉓	高山上組公会堂	×	○	○	○	高山 1219-3	—
㉔	西平井公会堂	×	○	○	○	西平井 1102-6	0274-24-1301
㉕	平井小学校	○	○	○	○	緑埜 388	0274-22-0705
㉖	東平井公民館	×	○	○	○	東平井 1088-1	—
㉗	白石公民館	×	○	○	×	白石 757	0274-24-6468
㉘	三ツ木公会堂	×	○	○	×	三ツ木 471	—
㉙	日野小学校	○	○	○	○	金井 658	0274-22-0824
㉚	旧日野中央小学校	×	○	×	○	下日野 2246	—
㉛	旧日野西小学校	×	○	×	○	上日野 886	—
㉜	御荷鉾公会堂	×	○	○	×	上日野 3-64	—
㉝	鬼石小学校	○	○	×	○	鬼石 439	0274-52-2756
㉞	鬼石中学校	○※	○※	○	○	鬼石 235-1	0274-52-2750
㉟	鬼石北小学校	○	○	○	○	浄法寺 842	0274-52-2754
㊱	鬼石多目的ホール	○	○	○	○	鬼石 158	0274-20-3011
㊲	体験学習館	○	○	○	○	譲原 1089-2	0274-52-3300
㊳	譲原防災センター	×	○	×	○	譲原 1722-1	—
㊴	保美濃山コミュニティセンター	×	○	×	○	保美濃山 1867	—
㊵	坂原コミュニティセンター	×	○	×	×	坂原 789-1	—
㊶	美原五区集会所	×	○	×	○	坂原 1678	—
㊷	藤岡市防災公園	×	○	○	○	神田 1547	—

※洪水の状況によって利用を制限する場合があります。

福祉避難所 災害が発生した場合における要配慮者への避難援助について設置運営協定を締結した施設

●要配慮者の方々には、一般的な避難所では生活に支障が想定されるため、適切な対応が可能な施設を福祉避難所としています。

要配慮者とは、災害時において、高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する方です。要配慮者の方は、避難場所・避難所とともに福祉避難所への避難も選択肢として考えてください。また、要配慮者の家族の方も含めて行動していただいて大丈夫です。

番号	福祉避難所名	所在地	電話番号
①	特別養護老人ホーム　ふじの里	中大塚 880	0274-24-6666
②	特別養護老人ホーム　音和の園	藤岡 2874-2	0274-24-2095
③	特別養護老人ホーム　つどい ※1	岡之郷 12-4	0274-40-3400
④	介護老人保健施設　藤岡みどりの園	下大塚 525	0274-24-5771
⑤	介護老人保健施設　しらさぎの里	中栗須 519-2	0274-24-6633
⑥	特別養護老人ホーム　真ほろば	藤岡 1019-2	0274-23-6520
⑦	御嶽養護老人ホーム 御嶽特別養護老人ホーム ※2	浄法寺 1881-6	0274-52-2231
⑧	介護老人保健施設　鬼石	鬼石 139-1	0274-52-3666
⑨	障害者支援施設　かんなの里 ※1	下栗須 887-1	0274-24-5885
⑩	障害福祉サービス事業所　ポプラ ※1	下栗須 973-1	0274-25-8128
⑪	障害福祉サービス事業所 さくらの家	鬼石 624-1	0274-50-3035
⑫	障害福祉サービス事業所　かりて	上落合 133-5	0274-23-8920

※1 浸水想定区域内　※2 土砂災害警戒区域内にあるため、災害の種類によっては利用できません。

※福祉避難所は、 災害時の必要な場合に設置されるものです。 最初から避難所として利用することはできません。

災害想定区域内要配慮者利用施設一覧表

●「要配慮者利用施設」として使用されている施設の中には、洪水等による浸水想定区域あるいは土砂災害警戒区域等の危険が及ぶおそれがある区域に立地している場合がありますので、注意を要します。

浸水想定区域内要配慮者利用施設

（災害リスク想定区域内）

浸水想定区域内にある要配慮者利用施設で、利用者の洪水時等の円滑かつ迅速な避難の確保を図る必要があると認められるもの

番号	施設名	所在地	電話番号
①	デイサービスすがお 小規模多機能型ホーム「太陽の家」 グループホーム虹の家 すがお	岡之郷 1166-1	0274-50-8558 0274-20-2121 0274-40-3478 0274-50-8558
②	さくら 伸和会つどい（岡の郷） 特別養護老人ホームつどい グループホームにいろ	岡之郷 12-4	0274-40-3400
③	キンダー学童保育所	岡之郷 1316-3	0274-42-3004
④	かんな学童クラブ	岡之郷 441-1	0274-42-1164
⑤	リハビリデイ休屋 休屋	岡之郷 660-1	0274-25-8713 0274-25-8711
⑥	佐藤助産所	岡之郷 708-3	0274-42-8356
⑦	神流保育園	岡之郷 907	0274-42-1164
⑧	さわだ医院	岡之郷 685-1	0274-43-1888
⑨	デイサービスゆい	下栗須 41-1	0274-50-8263
⑩	かりん	下栗須 53-1	0274-24-5885
⑪	福祉支援センターもくせい	下栗須 873-1	0274-22-5933
⑫	マロニエ かんなの里	下栗須 887-1	0274-24-5885
⑬	薬師寺整形外科クリニック	下栗須 9-2	0274-20-1555
⑭	藤岡開成幼稚園	下栗須 959-3	0274-24-0118
⑮	障害者福祉サービス事業所　ポプラ	下栗須 973-1	0274-25-8128
⑯	飯塚クリニック	下戸塚 185-4	0274-40-7700
⑰	神流小学校	下戸塚 190	0274-22-2444
⑱	神流学童保育所	下戸塚 577	0274-22-5210
⑲	すぎやまメディカルクリニック	下大塚 180-11	0274-20-1666
⑳	美土里小学校	下大塚 222	0274-22-2545
㉑	社会福祉協議会　鬼石 国民健康保険　鬼石病院 介護老人保健施設　鬼石	鬼石 139-1	0274-52-4843 0274-52-3121 0274-52-3666
㉒	飯田整形外科医院	篠塚 562	0274-22-5770
㉓	あけぼの保育園	篠塚 564-1	0274-23-2167
㉔	あけぼの学童クラブ	篠塚 564-3	0274-23-2167
㉕	子どもの国ほいくえん	小林 411-1	0274-22-1180
㉖	スマイリングホームメディス藤岡	小林 429-5	0274-22-3000
㉗	みかぼの郷 デイサービス みかぼの郷	小林 698-1	0274-50-6100
㉘	特別養護老人ホーム　ライフゆうかり 特別養護老人ホーム ライフゆうかり 診療所	小林 975-1	0274-22-8341
㉙	輝日の家	篠塚 358-3	0274-50-4020
㉚	輝日の家　上栗須	上栗須 364-4	0274-50-8090
㉛	くまの幼稚園	上戸塚 354-3	0274-23-5533
㉜	深沢内科医院	上戸塚 142-1	0274-22-6555
㉝	尚久デイサービスセンター藤岡 アットホーム尚久藤岡	上落合 359-1	0274-50-8171 0274-50-8788
㉞	アイリス診療所	森 264-4	0274-22-2542
㉟	学童クラブ森のいえ	森 466-7	0274-50-8585
㊱	森歯科診療所	森 488-3	0274-24-2828
㊲	小野小学校	森 541	0274-22-2546
㊳	小野保育園	森 578-1	0274-22-2788
㊴	小山医院	中 171-3	0274-20-1200
㊵	公立藤岡総合病院	中栗須 813-1	0274-22-3311
㊶	ふじおか歯科クリニック	中栗須 908-1	0274-50-4182
㊷	藤岡中央高校	中栗須 909	0274-24-6660
㊸	光病院	本郷 1045	0274-24-1234
㊹	藤岡特別支援学校	本郷 463	0274-25-8839
㊺	東中学校	本郷 786	0274-22-0761
㊻	デイサービスセンターたついし	立石 1471-1	0274-42-7860
㊼	小野中学校	立石 407	0274-24-0104
㊽	小野学童保育所	立石 495-1	0274-22-5959
㊾	リオ歯科クリニカ	立石 540-4	0274-24-6230
㊿	わたぼうし　※放課後デイとの多機能型 学童クラブかてて	立石 559-1	0274-24-5025
51	石川医院	立石 560-1	0274-40-2535
52	デイサービスセンターほあんの家	立石 668-1	0274-40-2512
53	立石第１学童 立石第２学童 立石保育園	立石 779-1	0274-42-1138 0274-42-3504
54	ガイアたついし	立石 850	0274-50-9415
55	鬼石中学校	鬼石 235-1	0274-52-2750

土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設

土砂災害警戒区域等における要配慮者利用施設で、利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図る必要があると認められるもの

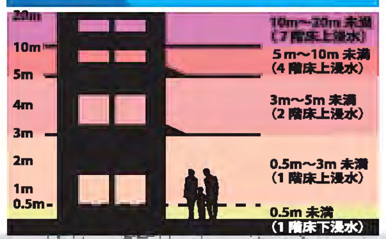
番号	施設名	所在地	電話番号
①	鬼石児童クラブ	鬼石 439	0274-52-3812
②	鬼石小学校	鬼石 439	0274-52-2756
③	デイハウスオアシス	三波川 215-2	0274-52-3975
④	御嶽養護老人ホーム 龍峰会御嶽養護老人ホーム医務室 御嶽特別養護老人ホーム	浄法寺 1881-6	0274-52-2231
⑤	デイサービスセンターどんぐりの木	藤岡 3093-1	0274-40-2722

1 ハザードマップ

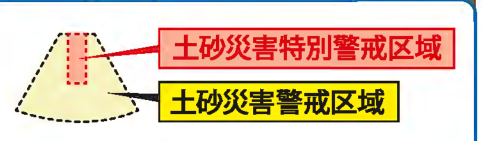
洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

洪水災害　浸水想定区域



土砂災害　土砂災害（特別）警戒区域

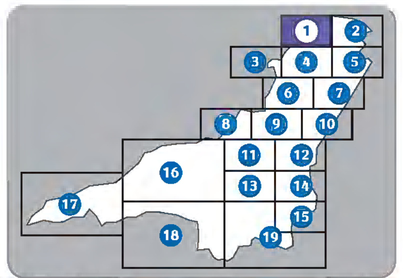


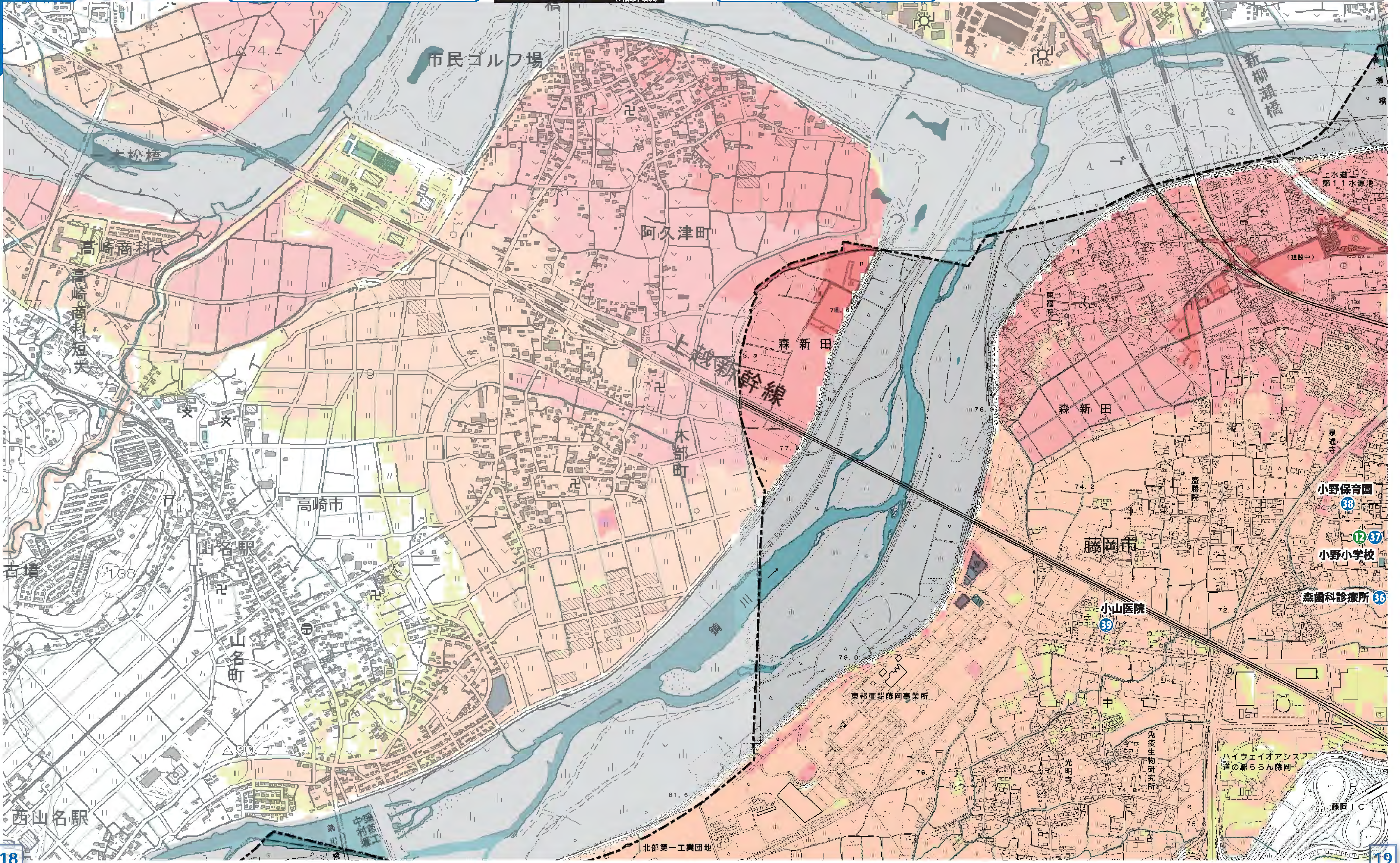
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:10,000
0　100　200　300　400　500m





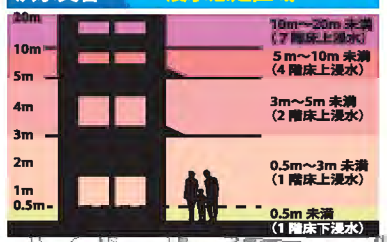
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

2 ハザードマップ

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

洪水災害　浸水想定区域



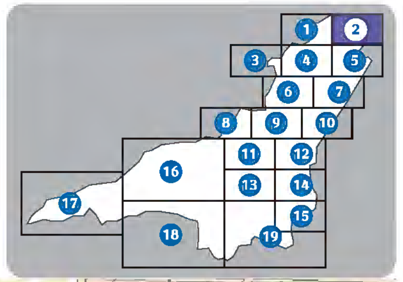
土砂災害　土砂災害（特別）警戒区域

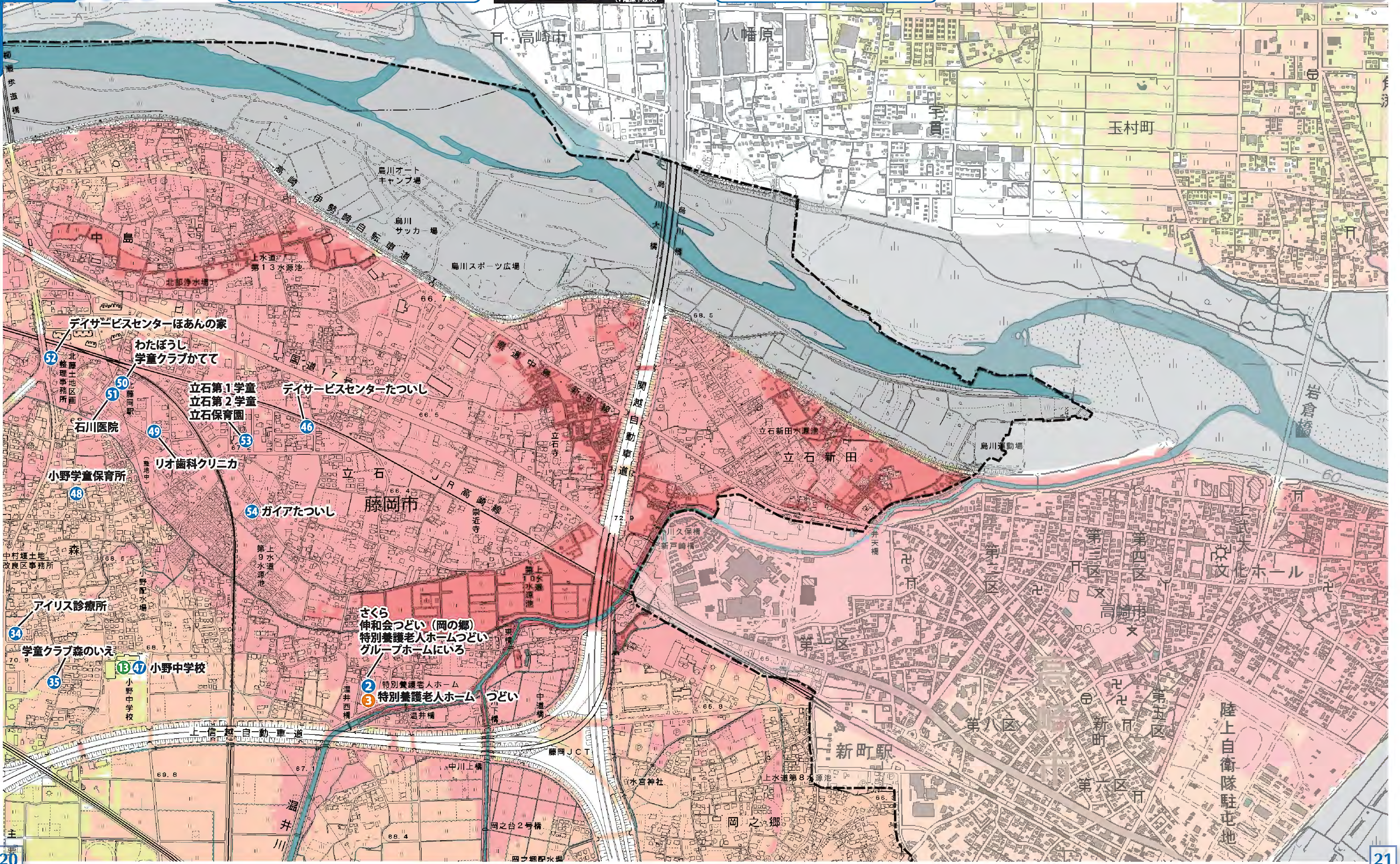
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:10,000
0 100 200 300 400 500m





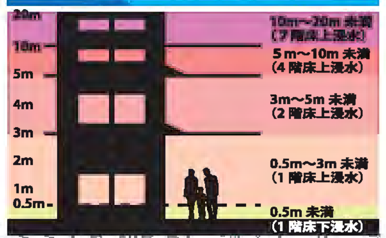
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

ハザードマップ

3 洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

洪水災害　浸水想定区域



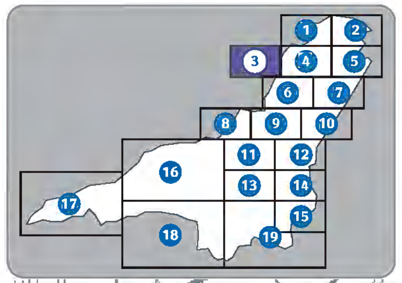
土砂災害　土砂災害（特別）警戒区域

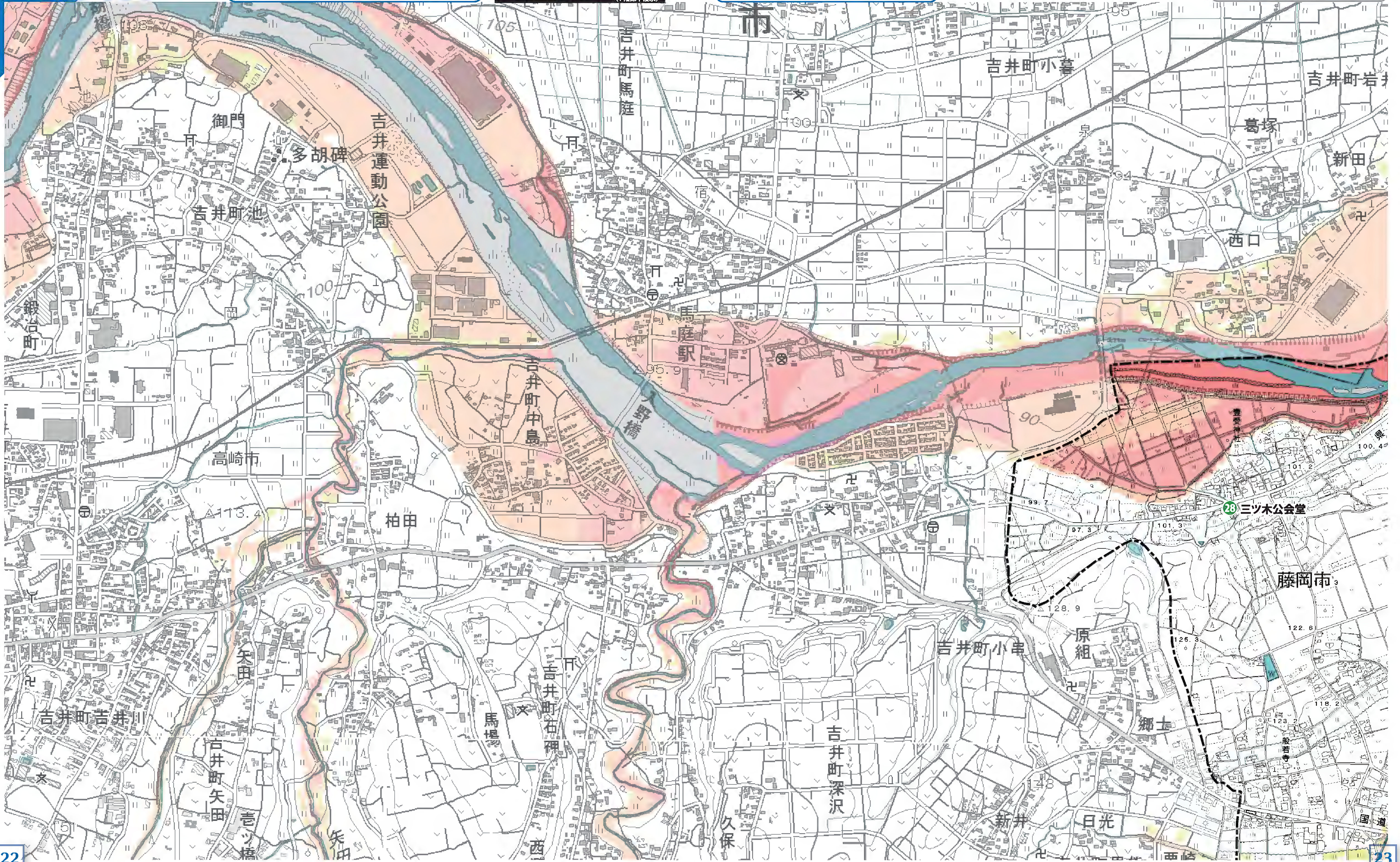
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:10,000
0　100　200　300　400　500m
N





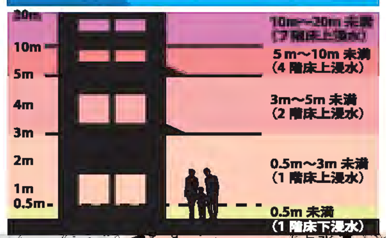
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

4 ハザードマップ

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

洪水災害　浸水想定区域



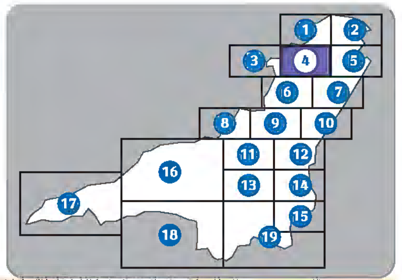
土砂災害　土砂災害（特別）警戒区域

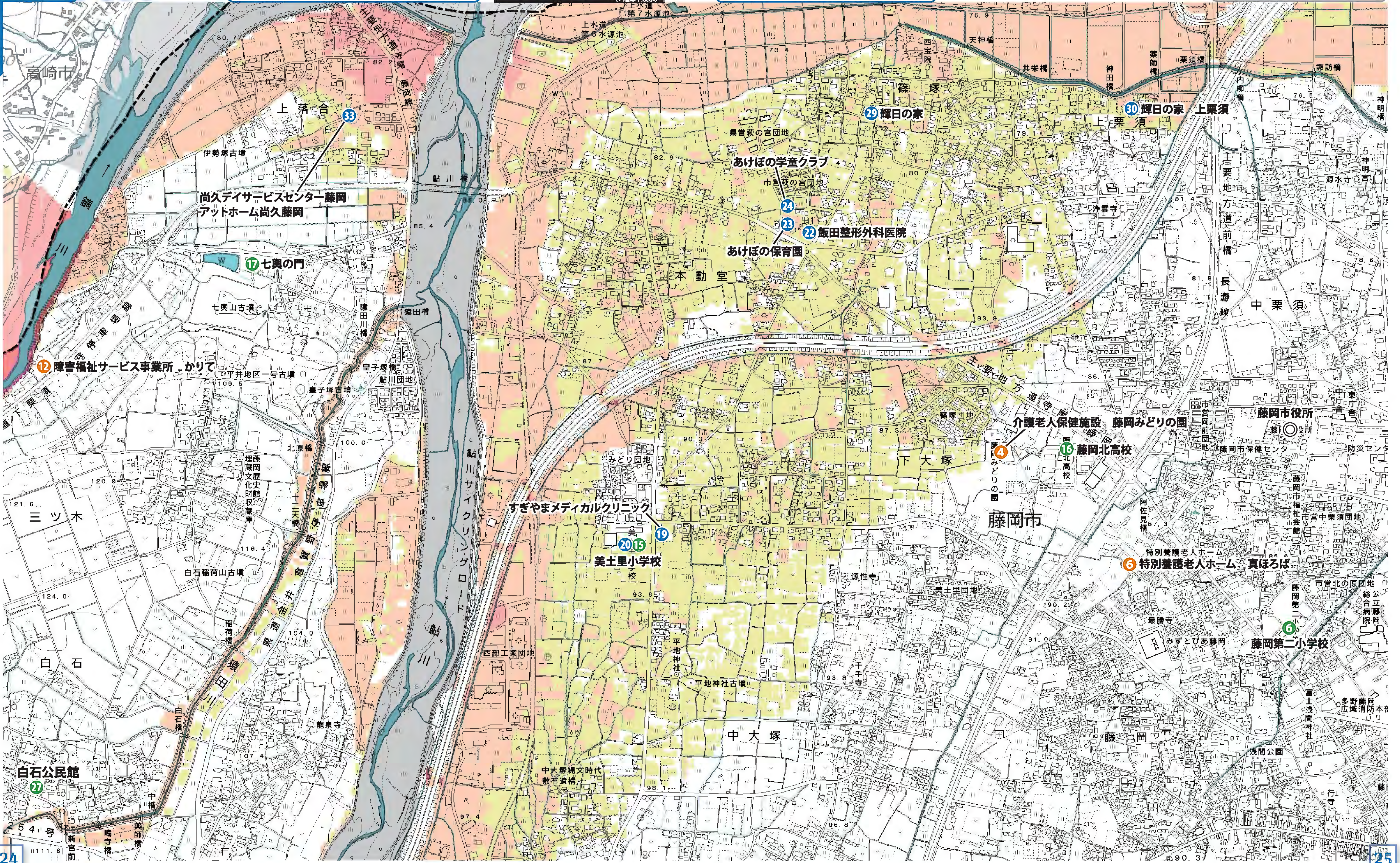
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:10,000　0　100　200　300　400　500m　N



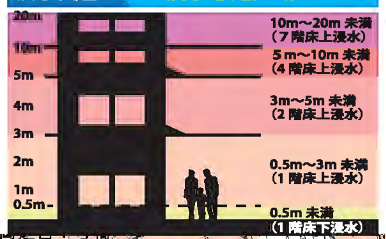


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

洪水災害　浸水想定区域



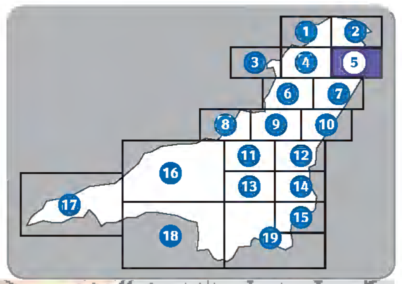
土砂災害　土砂災害（特別）警戒区域

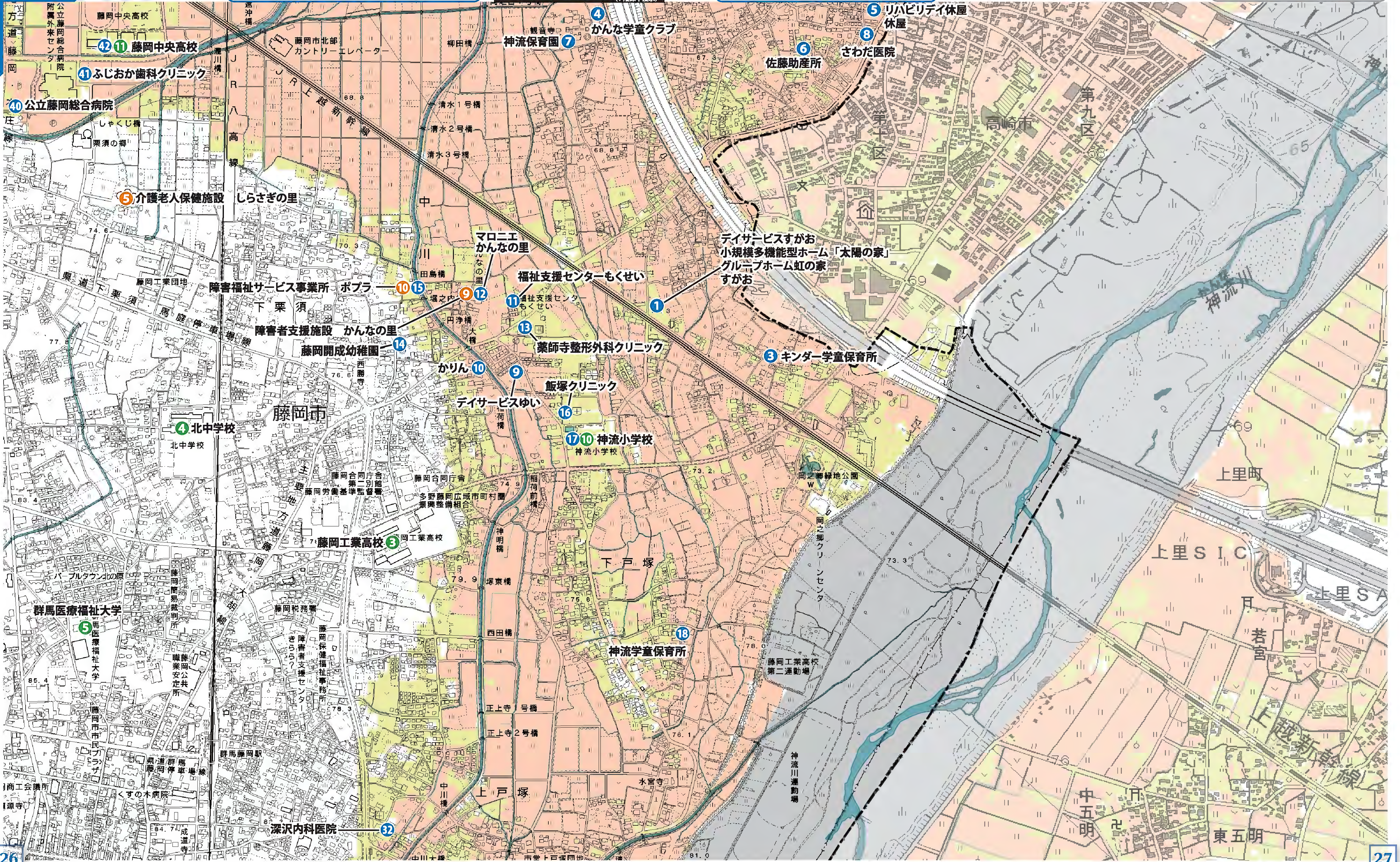
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:10,000　0　100　200　300　400　500m　N



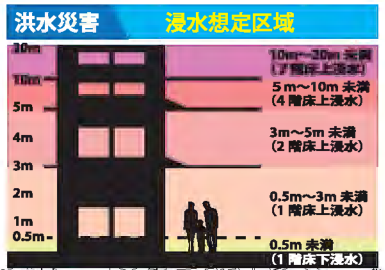


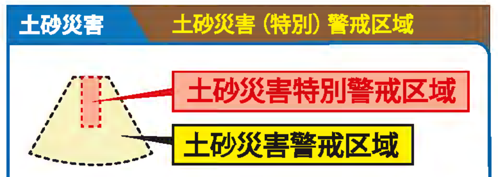
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

6 ハザードマップ

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

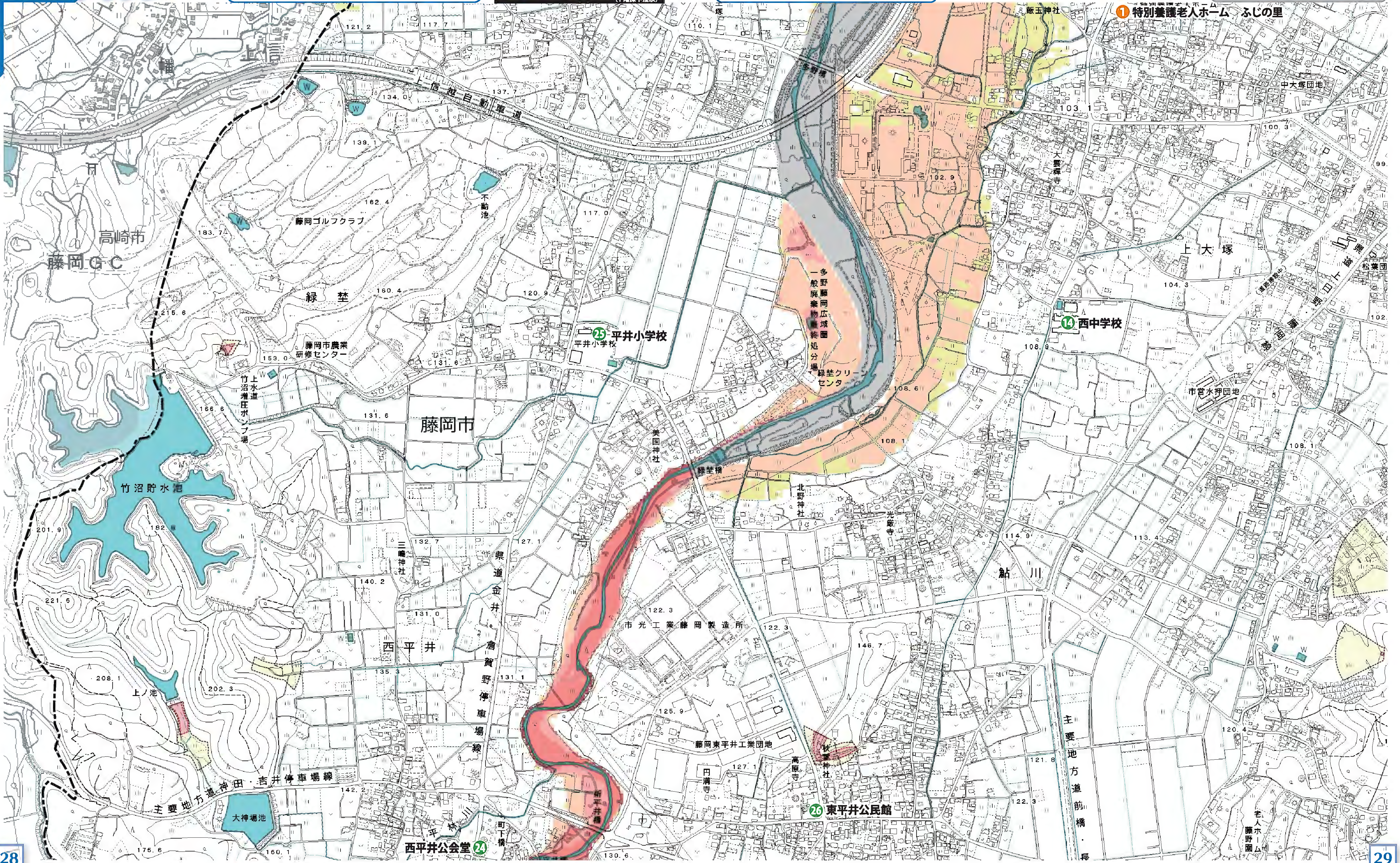




土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- ● 避難場所・避難所
- ● 福祉避難所
- ● 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- ● 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

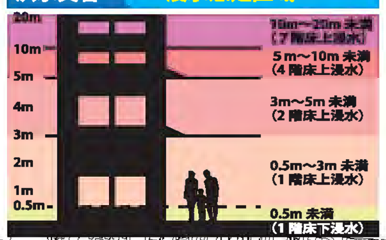


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

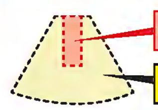
洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

洪水災害　浸水想定区域



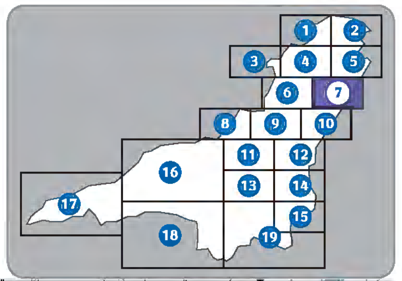
土砂災害　土砂災害（特別）警戒区域

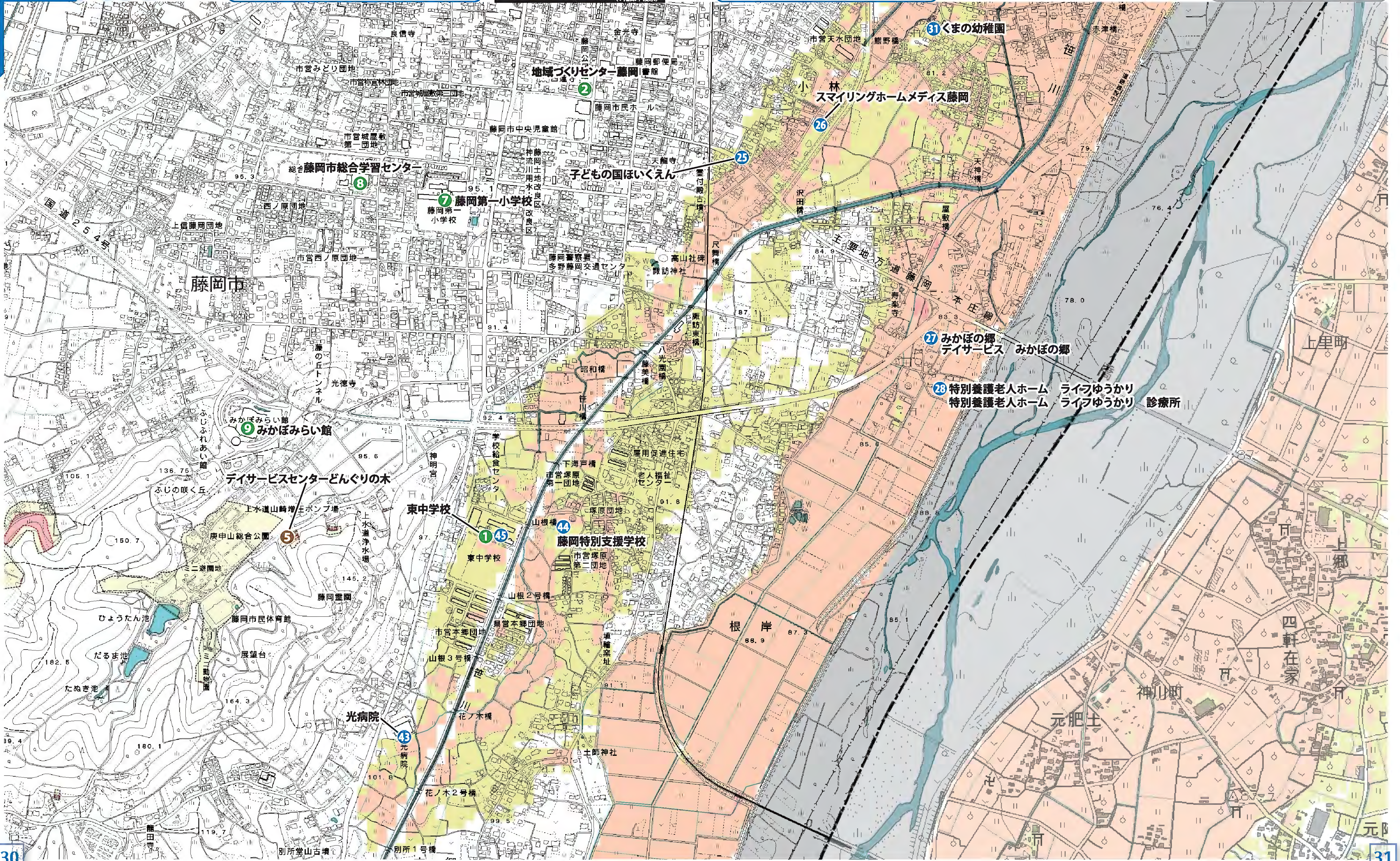


土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17





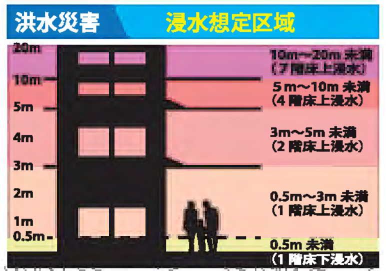
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

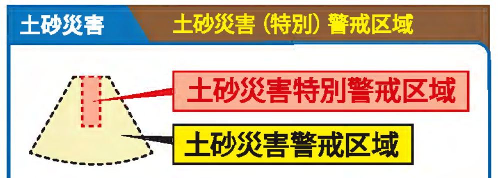
ハザードマップ

8

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

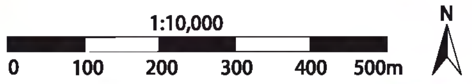


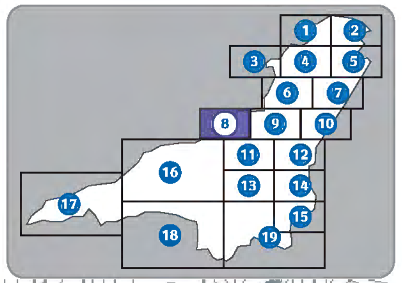


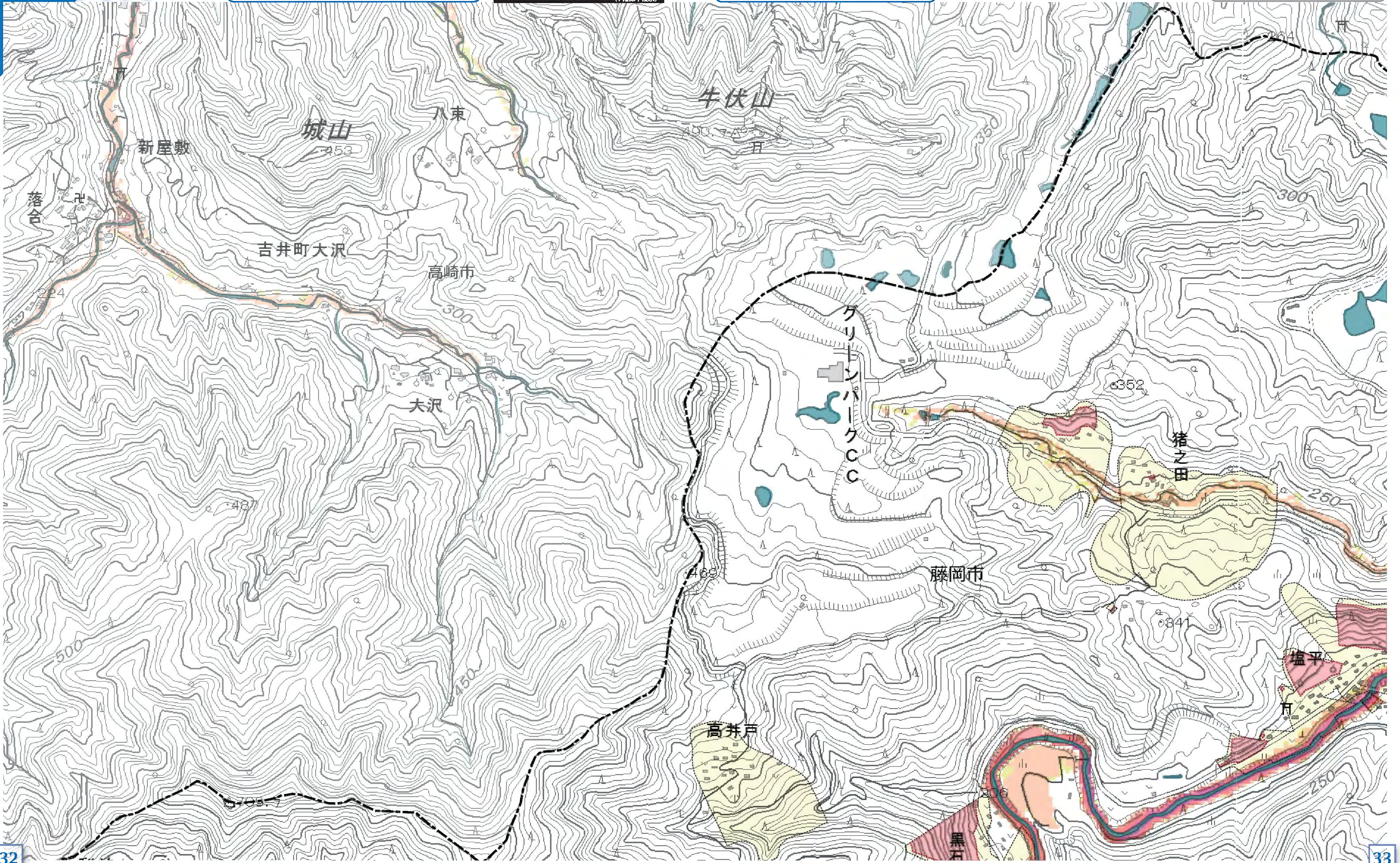
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17





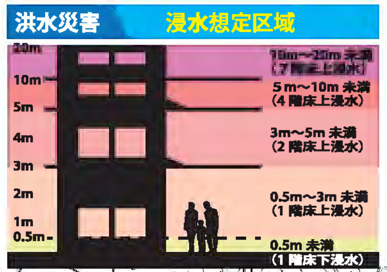


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

9 ハザードマップ

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！



土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

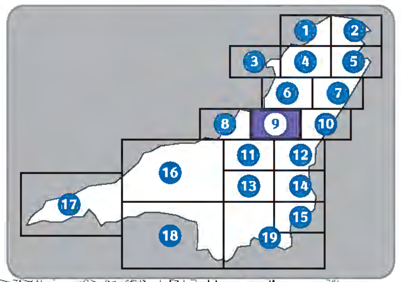
- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

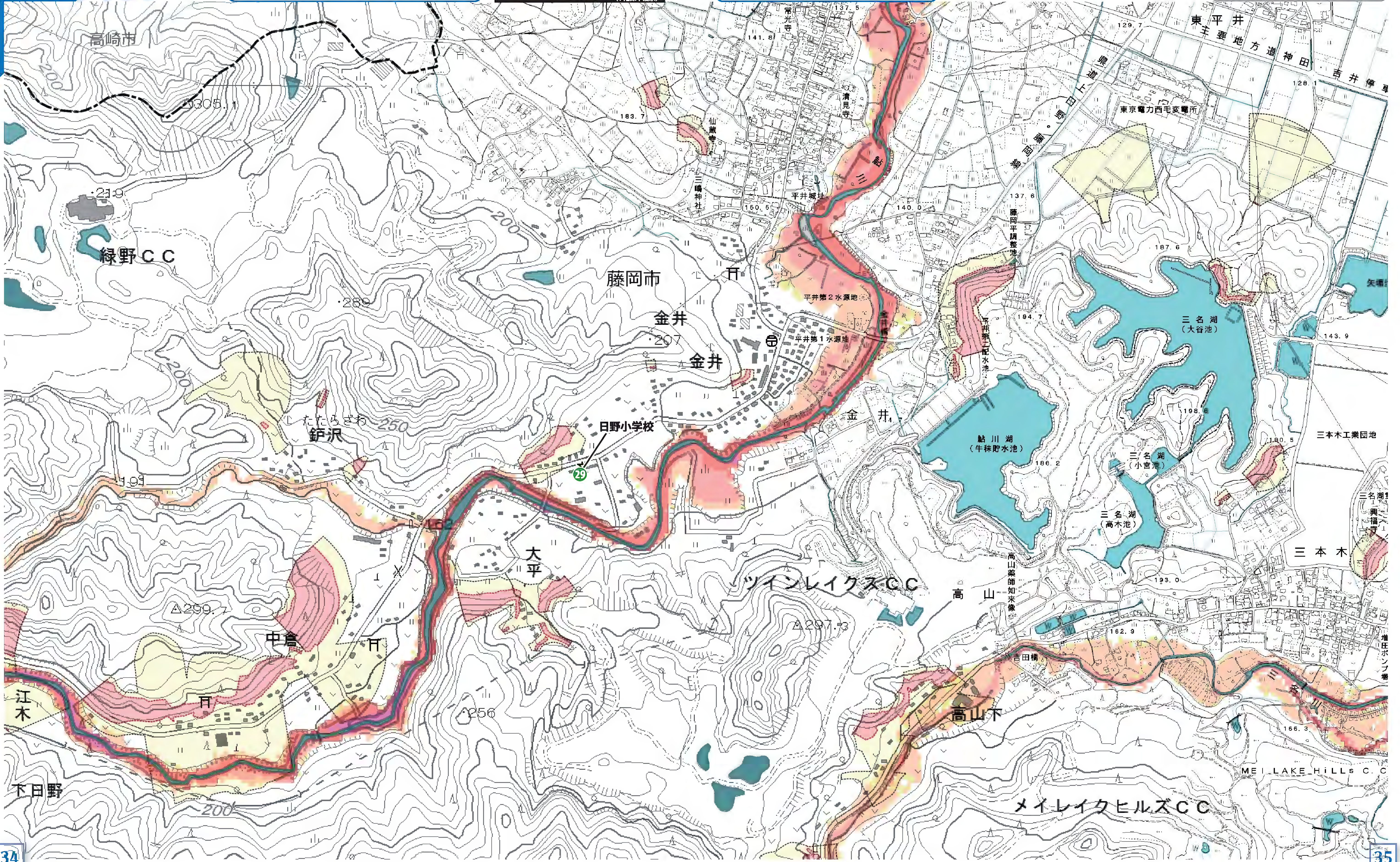
一覧表は P16-17

1:10,000

0 100 200 300 400 500m

N





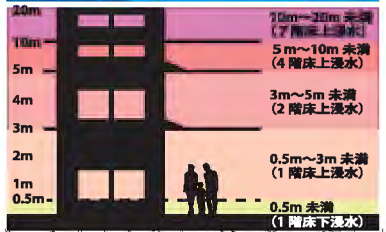
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

ハザードマップ

10 洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

洪水災害　浸水想定区域



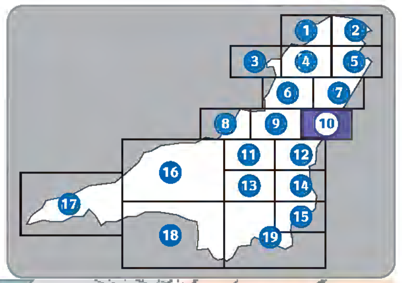
土砂災害　土砂災害（特別）警戒区域

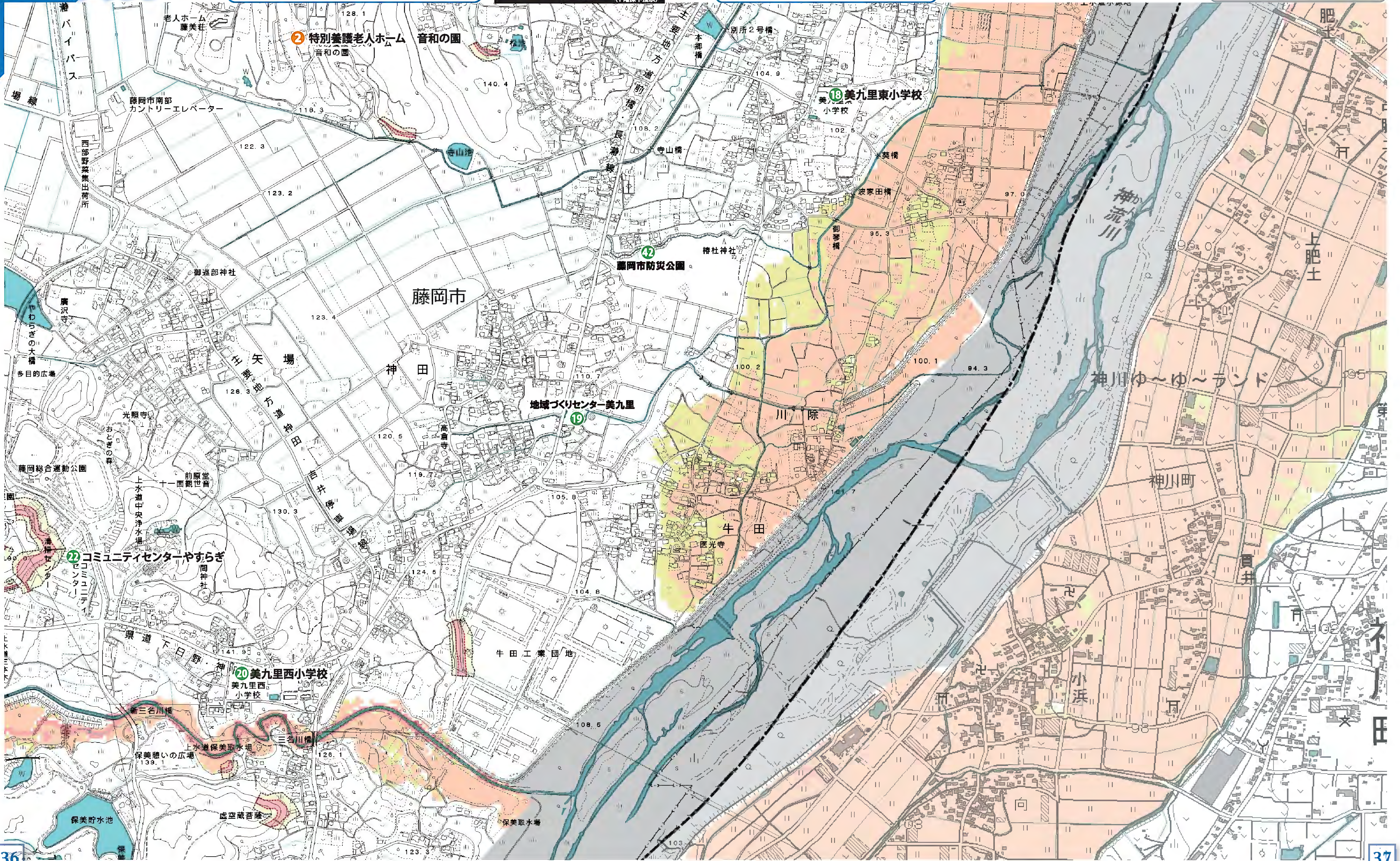
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:10,000　0 100 200 300 400 500m　N

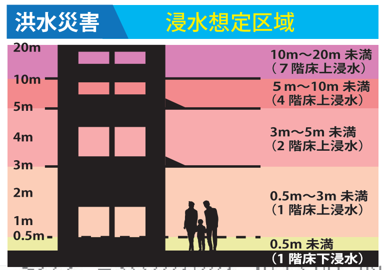




この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

洪水災害、土砂災害時の避難について

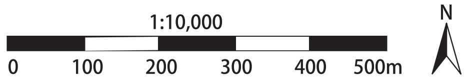
早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

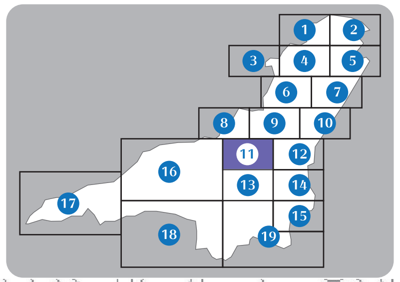


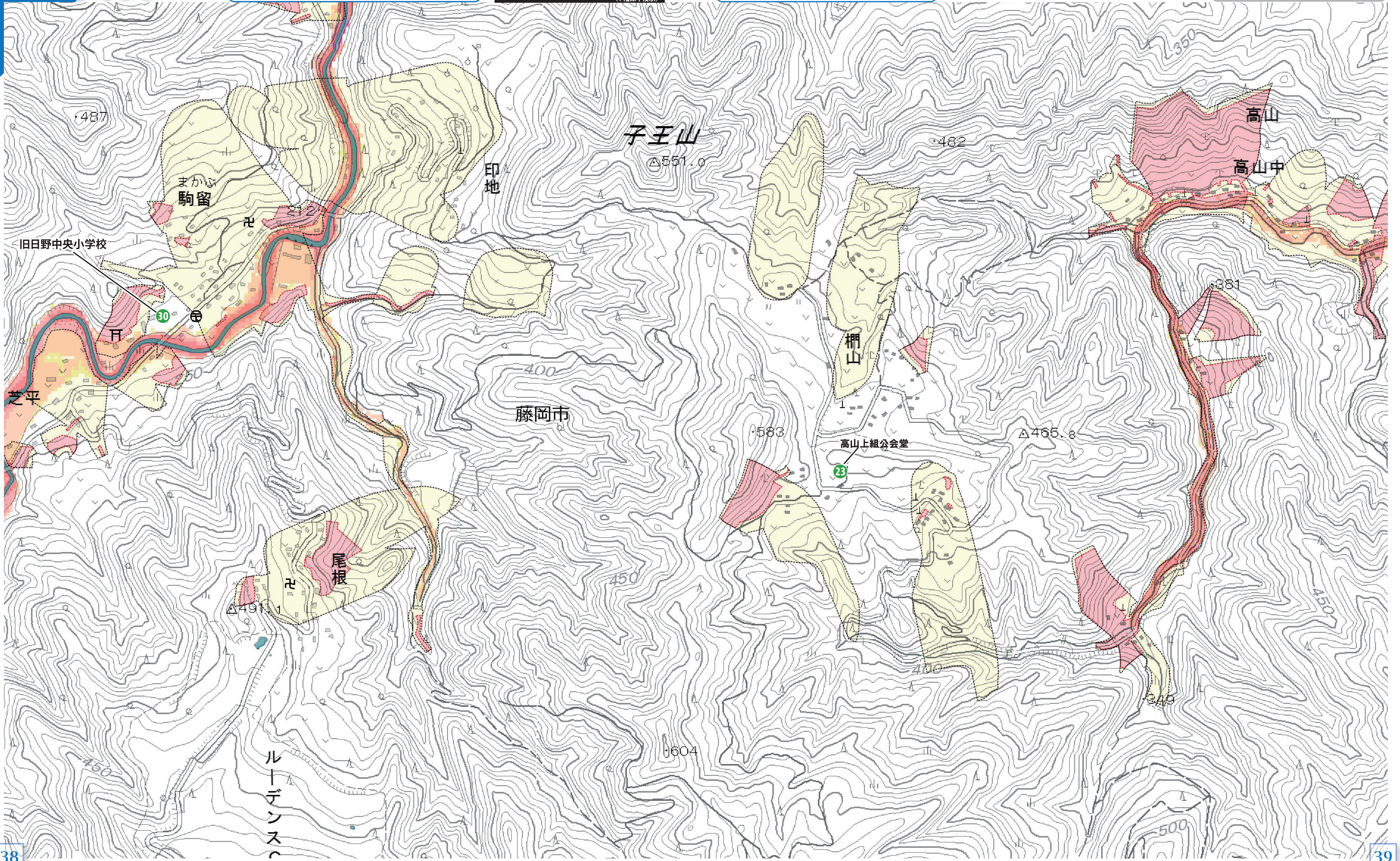
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17



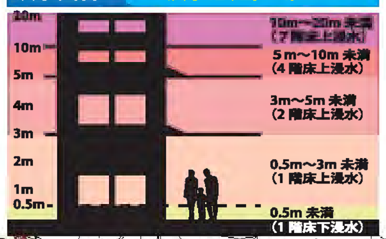




この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

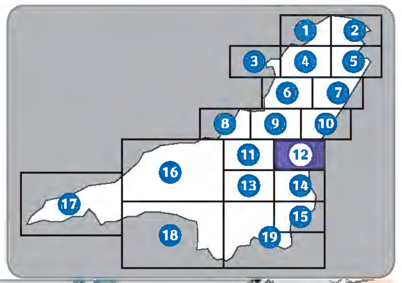


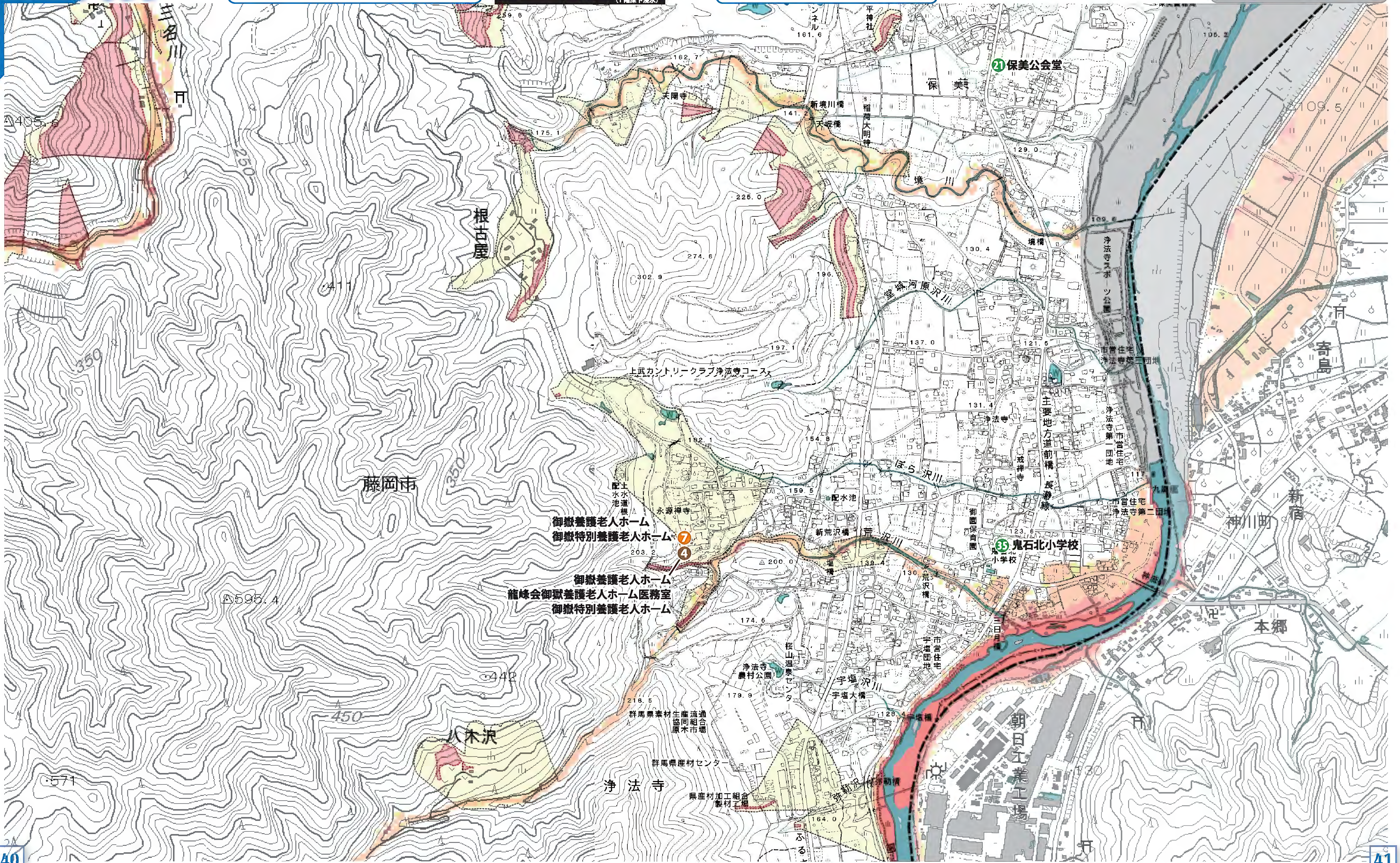
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:10,000 0 100 200 300 400 500m





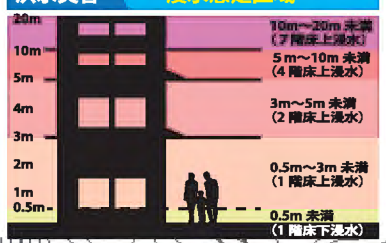
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

13

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

洪水災害 浸水想定区域



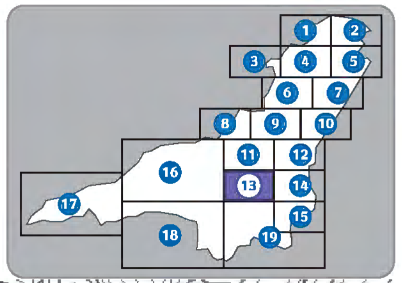
土砂災害 土砂災害（特別）警戒区域

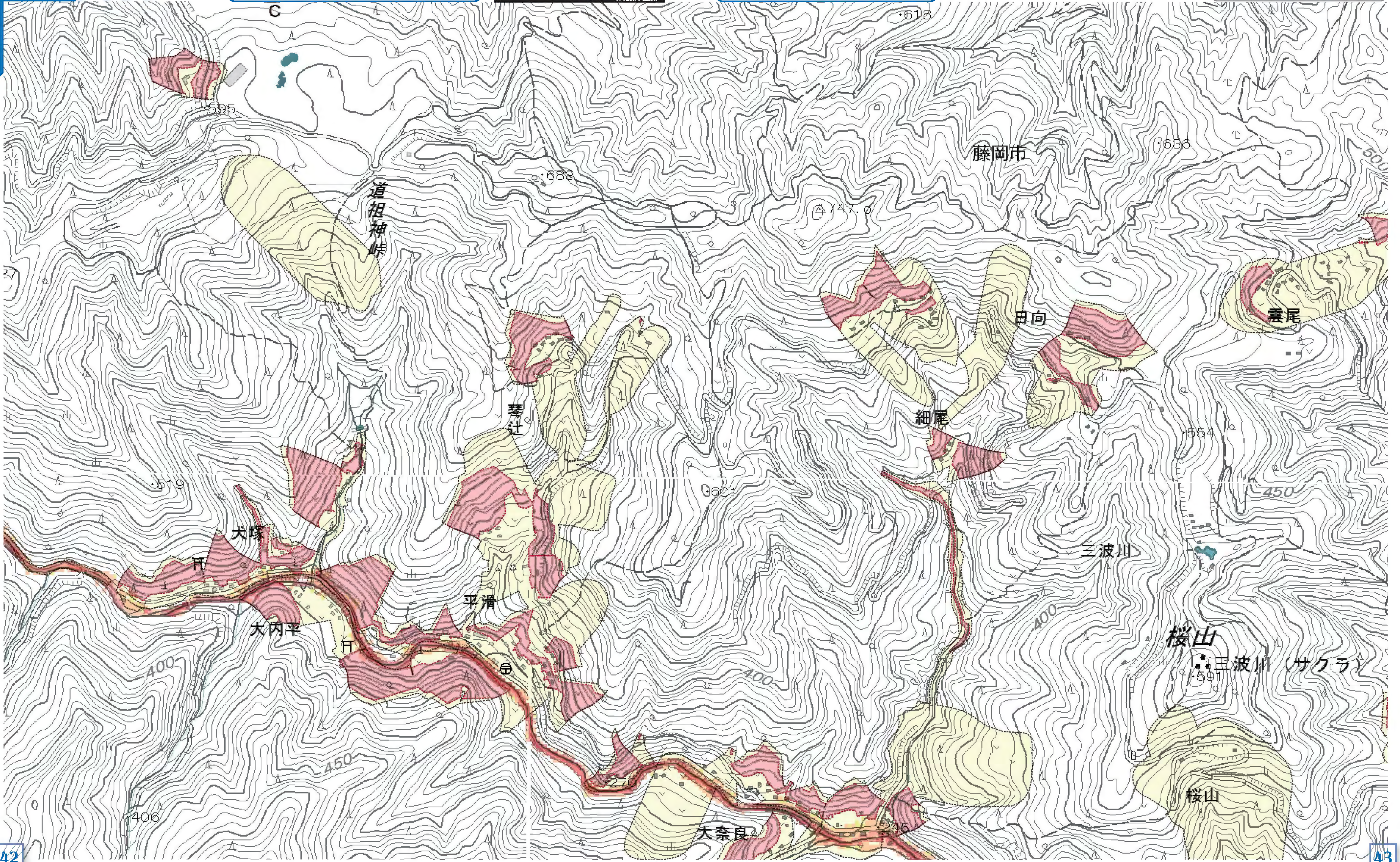
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:10,000
0 100 200 300 400 500m

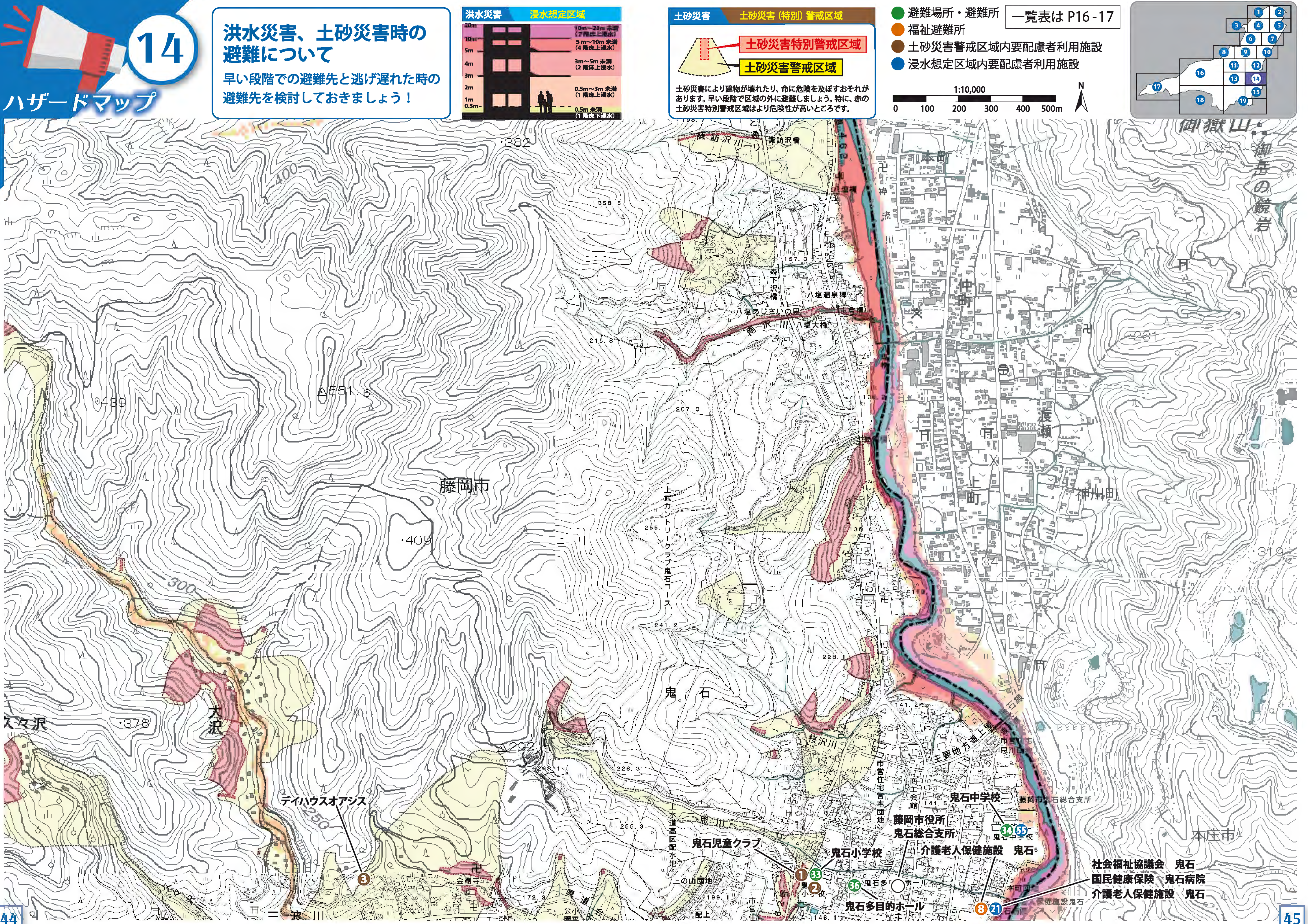




この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！



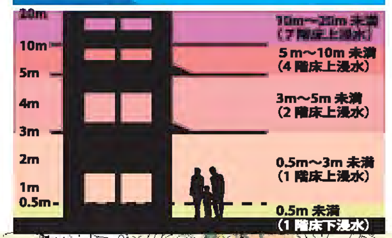
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

ハザードマップ 15

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

洪水災害　浸水想定区域



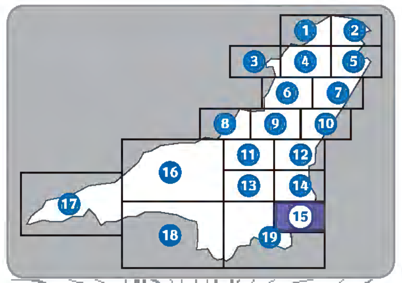
土砂災害　土砂災害（特別）警戒区域

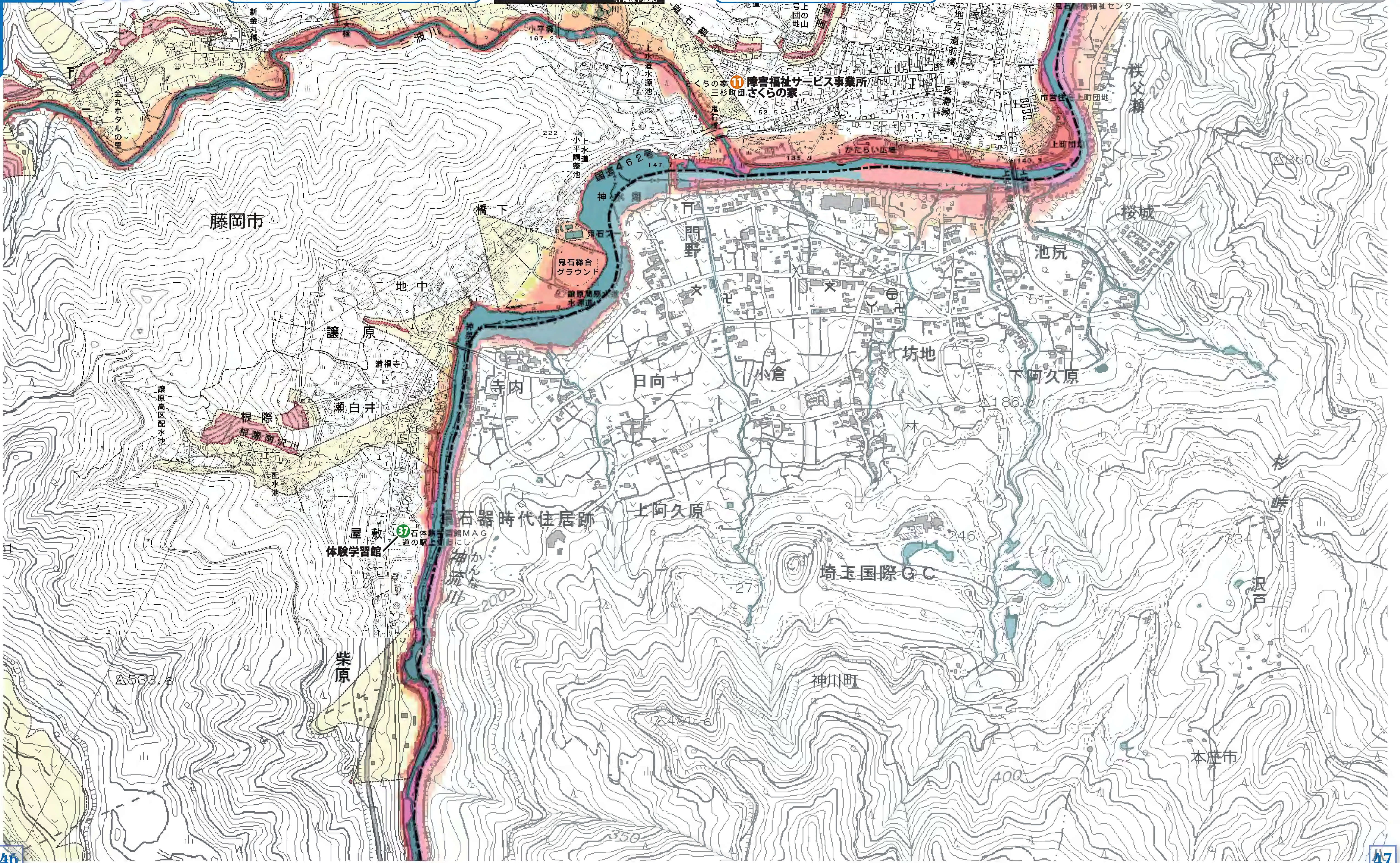
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:10,000　0　100　200　300　400　500m　N





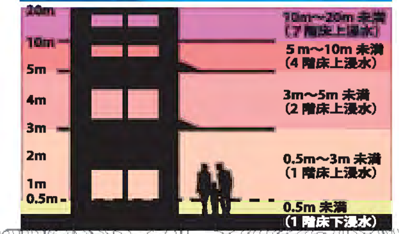
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

16

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

洪水災害　浸水想定区域



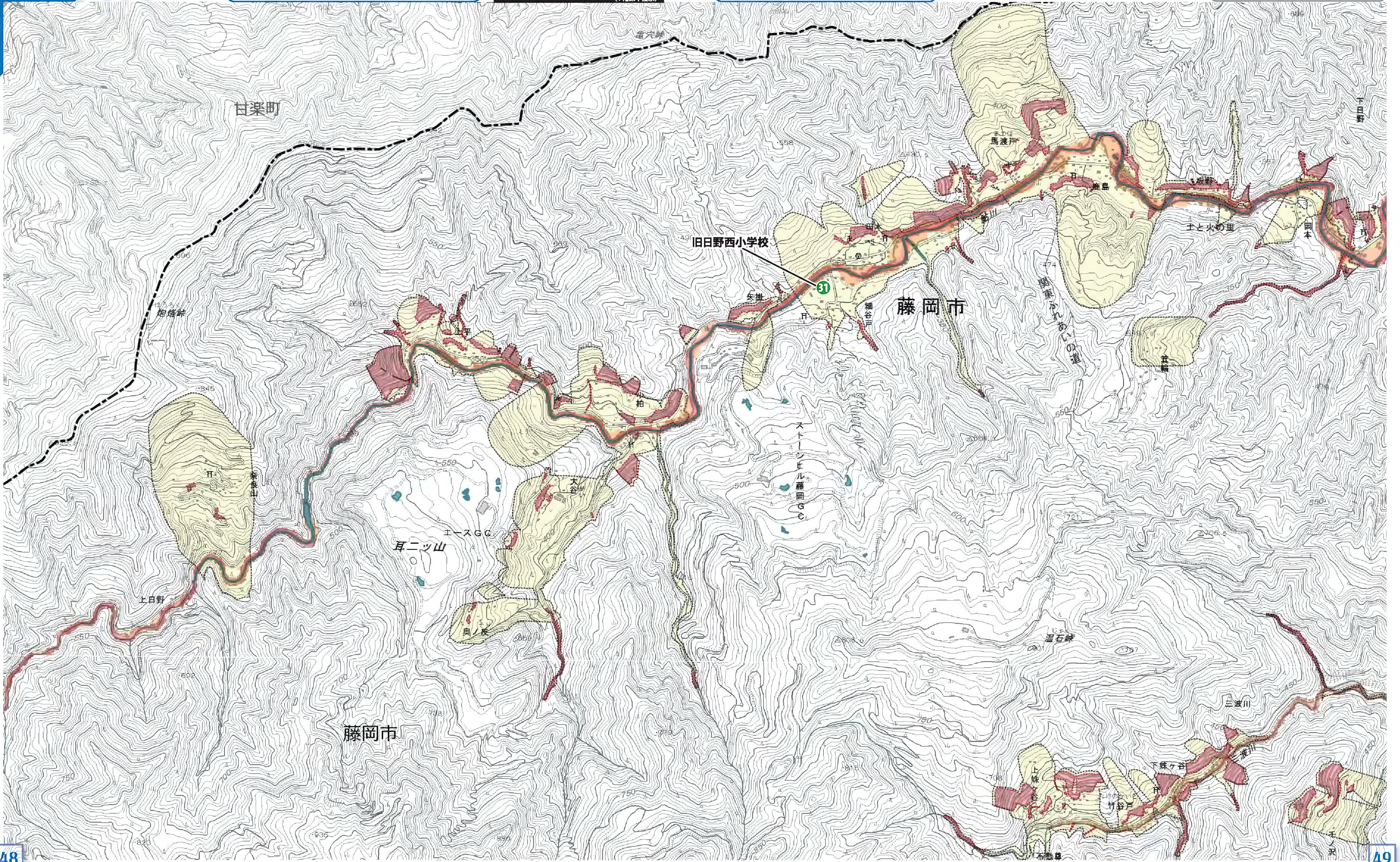
土砂災害　土砂災害（特別）警戒区域

土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:20,000　0　250　500　750　1000m　N

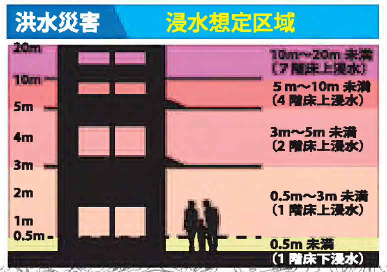


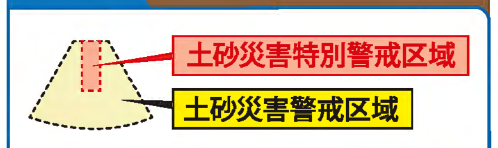
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

ハザードマップ 17

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！



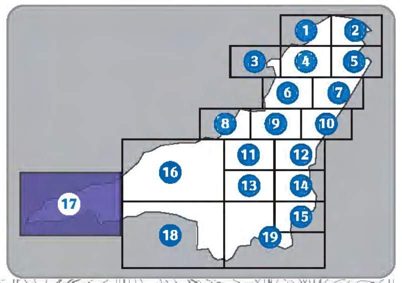


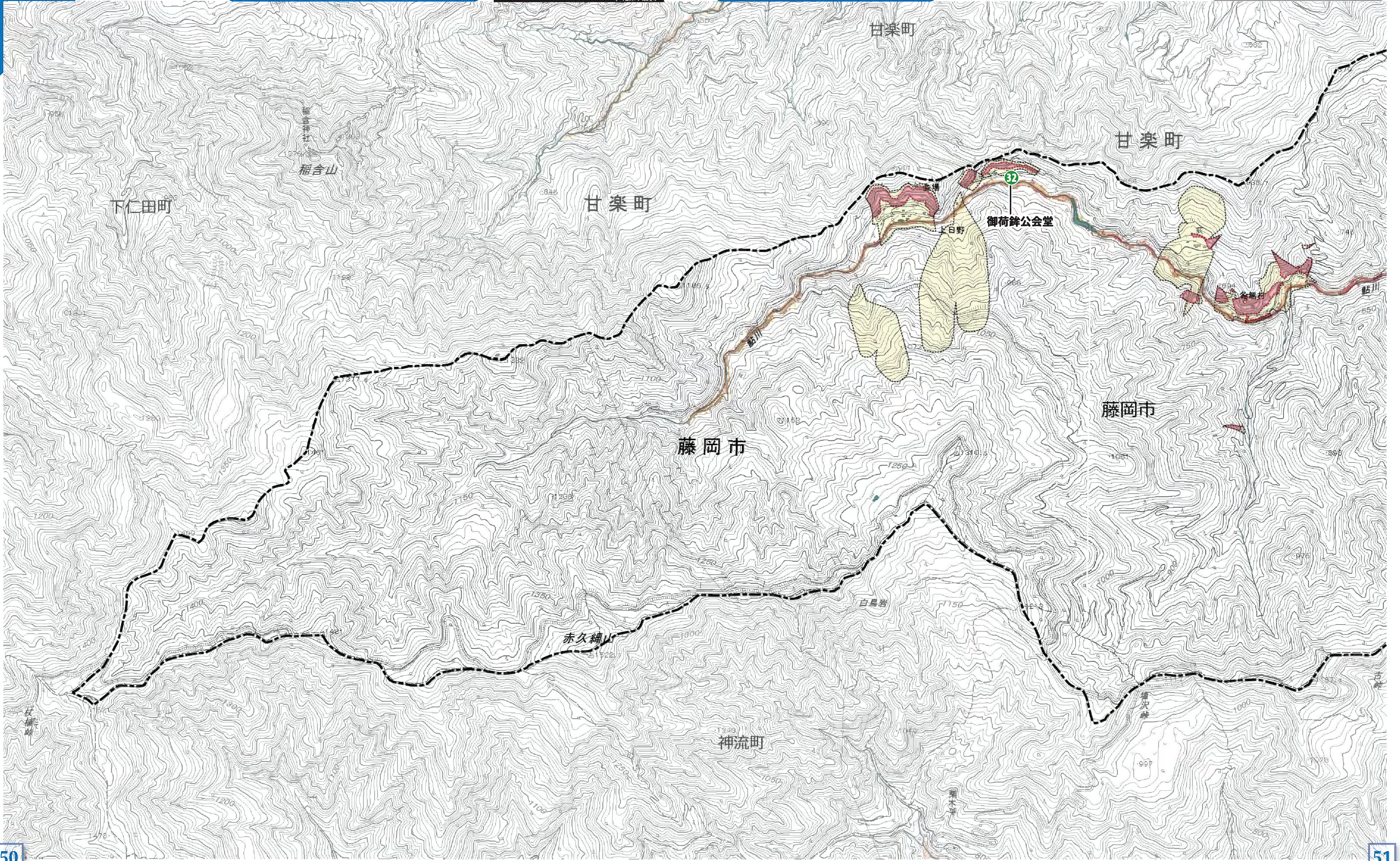
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:20,000
0 250 500 750 1000m
N



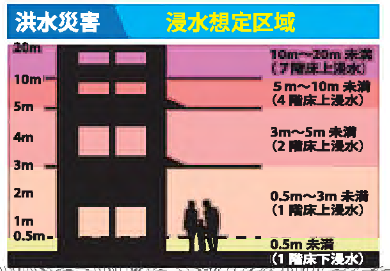


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

18 ハザードマップ

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

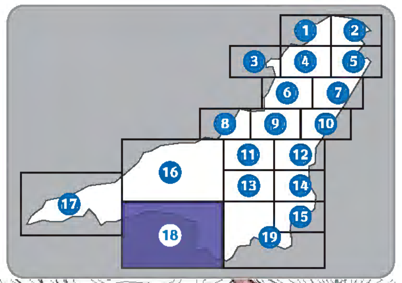


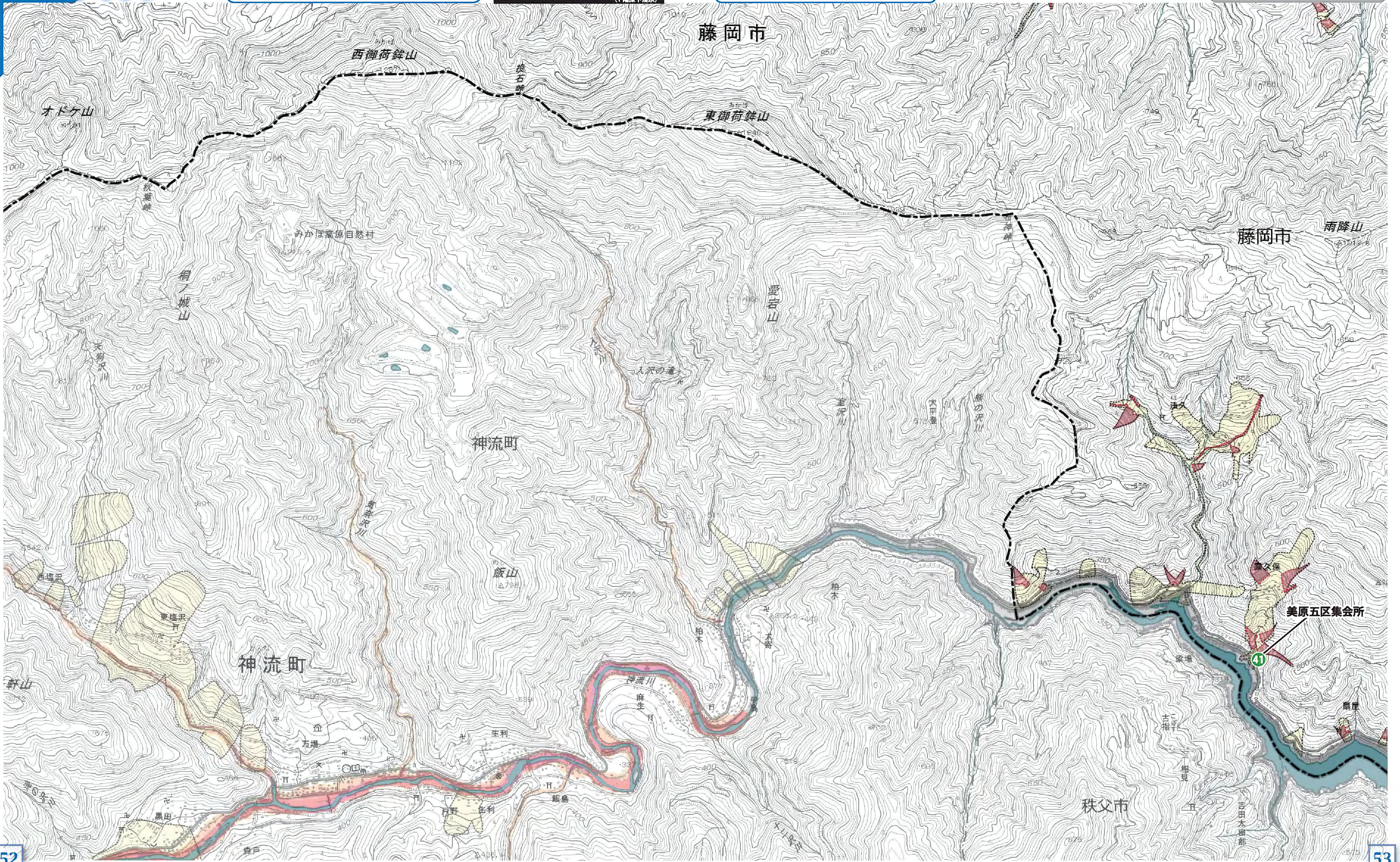
土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17

1:20,000
0 250 500 750 1000m
N



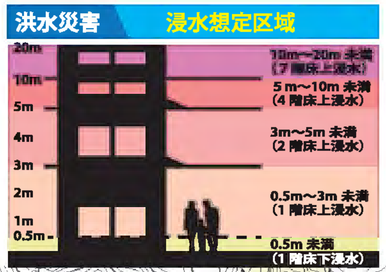


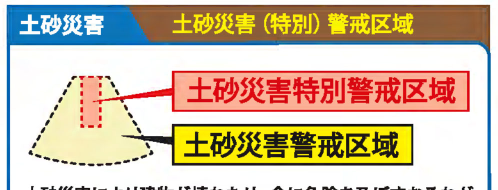
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）

19 ハザードマップ

洪水災害、土砂災害時の避難について

早い段階での避難先と逃げ遅れた時の避難先を検討しておきましょう！

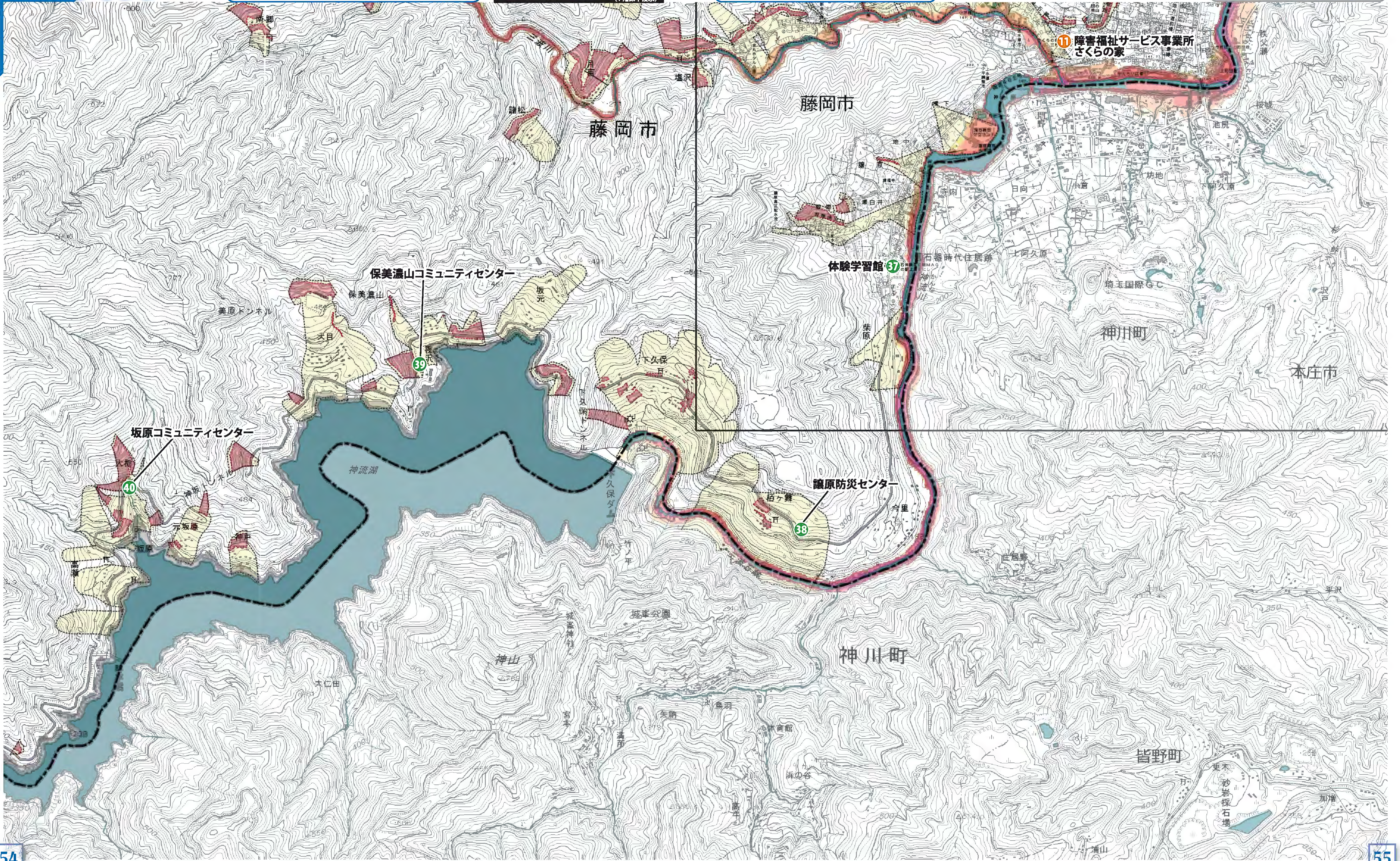




土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。特に、赤の土砂災害特別警戒区域はより危険性が高いところです。

- 避難場所・避難所
- 福祉避難所
- 土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設
- 浸水想定区域内要配慮者利用施設

一覧表は P16-17



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1469号）